

令和2年度 事業報告

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター

令和2年度事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター（以下、「センター」という。）は、ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動を総合的に支援し、NPO、行政、企業、大学、自治組織等多様な主体による連携・協働によって、地域課題の解決を図り、県民の社会参画機会の拡充と持続可能な地域社会づくりに寄与することを目的に、設立して7年が経過した。

この間、東・中・西部の3ヶ所に県振興課と共同で運営する「とっとり創生支援センター」（平成27年4月設置）を拠点に年間400件を超える個人・団体の相談を受け、ボランティア・地域づくり団体、NPO法人等の資金調達、人材育成、組織基盤強化等の支援を行うとともに、企業や専門家等と連携した多様な支援プログラムを開発・活用し、寄り添い型の伴走支援を進めてきた。さらに、今年度は、4月に新型コロナウイルス感染拡大の影響に関するNPO等向けアンケート調査を行い、8割を超えるNPO等が影響を受けているとの回答を得、8月には「コロナに負けない！地域づくり相談窓口」を開設し、NPO等向けのコロナ支援情報の発信やオンライン（Zoom）体験の出前講座を開催するなど、イベントの中止・延期や活動の縮小を余儀なくされているNPOや地域組織が継続して活動を進めていくための支援を行った。

また、地域を支援するコミュニティの形成や共助を担う人材育成に努め、とっとりSDGs推進会議（現・とっとりSDGsプラットフォーム）の意見交換会や市町村と連携した地域交流会の開催等、多様な主体やNPO等^{※1}同士がつながる機会を広げ、「顔の見える関係」を「お互いを知り、ともに支えあう連携・協働のネットワーク」へと発展・深化させる歩みに寄り添ってきた。その他、鳥取県中部地震からの復興のために県がセンターに設置した「震災復興活動支援センター」（平成29年4月設置）を運営し、全国初の県主導の「災害ケースマネジメント」の手法による生活復興支援活動の現場を担ってきた。

令和3年度は、引き続きコロナに負けず、新しい活動スタイルや体制を模索しながら組織の継続や見直しを図るNPO等の支援を行い、「令和新時代創造県民運動」を推進し、さらにSDGs（持続可能な開発目標）を共通言語に、子ども、若者、女性、高齢者、障がい者等多様な県民の参画や関係人口の広がり、ネットワークによる社会課題・地域課題の解決に向けた取組を推進する。

※1 NPO等…NPO、ボランティア団体、地域づくり団体、公益法人、社会福祉法人、地縁組織等法人格の有無に関わらず非営利活動を行っている民間の団体、企業及びこれから新たに活動しようとする団体

とっとり県民活動活性化センター 2015→2020「アクションプラン」

（公財）とっとり県民活動活性化センター（以下、「センター」という。）は、SDGsの推進、持続可能な地域づくりに挑戦し、地域の課題解決をめざす団体を応援し、県民とともに、とっとりの元気づくり・地方創生にチャレンジします！さらに、鳥取県中部地震からの「復興の総仕上げ」として、被災者一人ひとりに寄り添った生活復興支援活動に取り組み、コミュニティの絆、地域防災力の強化に努めます。

①ボランティア・地域づくり団体・NPO等と対話・コミュニケーションをすすめ、地域の課題を共有し、その解決策を探るとともに、組織の基盤強化を図ります！

- ・現場に行き、調べ、話を聞き、地域の課題解決を担うボランティア・地域づくり団体、NPO等の組織基盤の強化を図ります。（伴走型支援）

②地域のみんなで話し合う場をつくります！

- ・SDGs推進のプラットフォーム、県内外の災害時に備えた災害支援ネットワーク、市町村と連携して開催するNPO等の交流会等、多様な主体が集い、意見交換する場を作ります。

③民の立場から、多様な主体間の連携、地方創生・令和新時代創造県民運動等の推進に努めます！

- ・企業や大学、自治組織、NPO等、民間連携による支援プログラムや課題解決プロジェクトの立上げを進め、その実行にあたります。

④地域の支援人材の育成と、そのコミュニティづくりをすすめます！

- ・大学や専門家、企業、自治体等と連携し、地域の支援人材の研修・ネットワーク機会を創出します。

⑤地域のネットワークや団体に信頼される、身近な支援・相談機関をめざします。

- ・東・中・西部の各振興課と協働で設置している「とっとり創生支援センター」や「震災復興活動支援センター」を拠点に、専門家や市町村、企業、大学、様々な機関等と連携し、NPO・自治組織等の組織運営、広報、資金調達、ネットワークづくりを支援します。

＜令和2年度事業全体の成果＞

1. 新型コロナウイルス感染が広がる中、東・中・西部の拠点で、多様なアプローチによる相談活動をすすめ、支援対象や内容が広がった。

東・中・西部の「とっとり創生支援センター」「震災復興活動支援センター」のほか、新たにセンター内に設置した「コロナに負けない！地域づくり相談窓口」において、来所、訪問、電話、メール、オンライン等様々な方法で、NPO法人、一般社団法人、地域運営組織、自治会、市町村をはじめ広く県民の方からの相談を受けた（年間400件以上）。

また、税理士、社会保険労務士、ICT支援アドバイザー等の専門家や社会人・若者ボランティア（プロボノ）の参加による個別支援、活動団体や地域のネットワーク活動に寄り添いながら行う伴走型支援など、多様なアプローチによる相談活動を広げた。さらに、令和元年度に民間主導で立ち上げた「とっとりSDGs推進会議」や県とともに運営している「とっとりSDGsパートナー制度」を通して、企業や学校等からの相談も受けることとなり、新たな連携の芽が生まれた。

2. 人材や資金を活動団体に循環させるしくみの活用が進んだ。

「中国ろうきんNPO寄付システム」、「あいおいニッセイ同和損保助成プログラム」、「ごうぎんSDGs私募債（地域起こし型・NPO）寄贈事業」、「とっとりイーパーツリユースPC寄贈プログラム」に加えて、「とりぎん青い鳥基金」、「明治安田生命保険相互会社『私の地元応援基金事業』（令和2年度のみ）」、「47コロナ基金とっとりつながる助成プロジェクト」、「中国5県休眠預金等活用コンソーシアム事業」が新たに始まり、県民の地域活動への多様な参加を促し、企業をはじめ県内外の多様な主体と協働して、人材や資金を活動団体に循環させるしくみの運用が広がった。寄付つき商品の開発普及事業「お買い物チャリティー」「とっとりカンパイチャリティー」は、「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン」（11～12月）として昨年に引き続き集中的に取り組み、企業・店舗や子ども子育て団体等に積極的に働きかけたことで、コロナ禍の中であったが、新規でマッチング数が12件増えた。

また、活動団体自身が組織基盤の強化を図り、資金調達や人材育成を進めるために、研修会の開催や個別支援に取り組むとともに、オンラインツールを活用した交流機会や活動団体間のネットワークを広げた。

3. より現場に近い地域（市町村等）において活動団体同士の交流機会や、若者の地域づくり活動への参画機会を広げた。

市町村単位で活動団体同士が集い、NPO・地域運営組織等と行政がつながり、情報共有や意見交換を行う「地域づくり（NPO）交流会」の開催は、4年間で14市町村に広がった。また、新型コロナウイルス感染の拡大の中によって高まったオンラインツールの活用ニーズや公民館のコミュニティセンター化や共助の取組の動きを受けて、「Z o o m体験講座」や地域づくりに関する講座等、地域の自治会や公民館等との対話の機会が広がった。また、高校生や大学生をはじめとする若い世代に対して、「夏のボランティア体験事業」「社会人・若者ボランティア（とっとりプロボノ）事業」等への参加を促すとともに、県やセンターの若者活動支援事業に対して個別支援を行った。

4. 鳥取県中部地震から4年、個別の被災者に対する生活復興支援事業（災害ケースマネジメント）の取組をはじめ、県中部の復興に係るとともに、地域防災力強化のための支援活動を広げた。

鳥取県中部地震から5年、震災復興活動支援センターにおいて、「鳥取中部福高祭」等復興のまちづくりや復興ボランティア団体の支援、「鳥取県版災害ケースマネジメント」の取組、「県震災復興活動特別支援事業補助金」等を活用した支援を進めた。また、地域の依頼に基づき、防災訓練や地域の防災講座、「支え愛マップづくり」、「避難者運営ゲーム（HUG）」の支援等を行い、地域防災への参加の機会を広げた。

5. 情報発信を積極的にすすめ社会的認知を広げるとともに、職員の育成強化に努めた。

県の発信媒体の活用、新聞広告、情報誌等の発行により、多様な層への発信に努めた。また、職員に対して面談（人事評価）による指導・助言、内外の研修への参加を促し、スキルアップを図った。

1. 法人事業

1. 法人業務

(1) 評議員会、理事会の開催

○評議員、理事、監事の積極的な参加を得て、評議員会、理事会の活性化を図った。

ア 評議員会

日時	会議の種類	主な内容
6月26日（金）	第1回定時評議員会（書面）	[決議] 平成31年度（令和元年度）収支決算、理事1名の選任 [報告] 平成31年度（令和元年度）事業報告 令和2年度事業計画・収支予算、剰余金の使途

※評議員訪問 6月15日（月）鳥取県市長会亀屋事務局長〔深澤評議員代理〕（毛利）

6月18日（木）本城評議員（齋藤、毛利）、6月26日（金）平井評議員（齋藤、毛利）

イ 理事会・監査等

日時	会議の種類	主な内容
5月13日（水）	監査（センター事務所）	監事による平成31年度（令和元年度）事業の監査
5月29日（金）	第1回定例理事会（書面）	[決議] 平成31年度（令和元年度）事業報告・収支決算 剰余金の使途、理事候補者1名の選定、評議員会の招集 [報告] 平成31年度（令和元年度）監査報告
7月18日（土）	第2回臨時理事会（書面）	[決議] 諸規程の策定及び改定、令和2年収支予算の修正 災害時のNPO支援センター等活動相互支援協定参加 [報告] 監事監査規程の策定、コロナ対応による令和2年度事業計画の見直し
10月20日（火）	第3回臨時理事会（エキパル倉吉多目的ホール）	[決議] 令和2年度事業計画・収支予算の変更 剰余金の使途の変更、諸規程の策定及び改定 [報告] 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 令和2年度事業中間報告 [協議] アクションプラン及び令和3年度事業計画策定にむけて
3月23日（火）	第4回定例理事会（オンライン）	[決議] アクションプラン及び令和3年度事業計画・収支予算 事務局長の再任用について、諸規程の策定及び改定 [報告] 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 令和2年度事業中間報告及び決算見込み コンプライアンス委員会報告 令和3年度の震災復興活動支援センターについて

・説明文書「理事のみなさま」送付 4月28日（火）、5月12日（火）

・理事への説明（オンライン） 7月16日（木）長曾我部理事（毛利対応）

・コンプライアンス委員会の開催（オンライン） 3月5日（金）参加：毛利、寺坂、世瀬、春名行政書士

(2) 信頼される事務局機能の構築

○新たな自主事業の広がりに伴いアルバイト職員が増え、多様な雇用形態のスタッフ構成になってきたが、適切な役割分担とチームワークによって、県民に対する誠実な対応と確実な業務の遂行に努めた。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、常勤職員には週1～2回程度の在宅勤務や有給休暇の取得を推進したほか、東・中・西部3ヶ所に勤務地が分散している中、統一感をもった事務局機能を果たすために、Zoom等のオンラインツールを活用し、スタッフ全体や事業担当者毎のミーティングを開催するとともに、情報共有や決裁・管理のツールとしてクラウド機能をさらに活用し、効率的な業務遂行に努めた。一方、担当者任せで、進捗状況の共有化が図られないまま未実施となった事業が一部生じた。

○個々の職員が自己研鑽を図るとともに、オンラインによる全国的な研修機会等も活用し内部及び外部研修への参加を促し、中間支援人材としての専門性（相談対応力、事務支援力、コーディネート力、企画プロ

デュース力、情報発信力等)を高める努力を行った。また、自己評価に基づく職員の人事評価を行い、モチベーションの向上を図った。

○県民参画協働課をはじめ、県各振興課(東・中・西部)、県中部振興課(中部地震復興支援担当)、県危機管理政策課及び県新時代・SDGs推進課、県ふるさと人口政策課、県中山間地域政策課等と協議の場を持ち、情報共有及び意思疎通に努め、県庁各課及び市町村との連携を図った。

○新型コロナウイルスの感染により業務に支障がでることを想定し、代替施設として県中部総合事務所と協議を進めたほか、災害時(県内外)におけるセンターの事務機能やNPO等、社会福祉協議会、行政、企業等支援組織との連携機能に関する事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)の策定について準備を進めた。

○公益認定法等、法令に基づく適切な運営、事務処理を行い、社会的信頼を得られるように努めた。

ア スタッフミーティング

・月1回程度開催(14回)※必要に応じて、コロナ対応により短時間で人数制限を行った。

4月1日(水)、4月24日(金)、5月25日(月)、6月22日(月)、7月1日(水)、7月22日(水)
8月24日(月)、9月28日(月)、10月26日(月)、11月27日(金)、12月16日(水)[オンライン]、1月26日(火)[オンライン・研修含む]、2月19日(金)、3月17日(水)

イ 職員面談、人事評価

・理事長及び常務理事が、職員に対して個々に人事評価を行い(アルバイトを除く)、面談を行った。

個別面談 第1回 10名 9月25日(金)、28日(月) 第2回 12名 2月18日(木)、19日(金)

ウ スタッフ研修(事業に関わる県内外の情報収集及びネットワーク構築を含む)

＜外部研修＞ 21回44日(全国の中間支援組織又は県等が行う、県内外の研修会等)

日時	場所	参加者	内容
5月15日(金)	オンライン 東京都	毛利	認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 「新型コロナウイルス地方創生臨時交付金」説明会
5月20日(水)	オンライン 東京都	椿 池淵	(公財)助成財団センター 「2020年5月度助成実務Zoomセミナー」
5月27日(水)	オンライン 東京都	毛利	認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 「(新型コロナウイルス対応)総会開催・支援施策等セミナー」
6月12日(金)	オンライン 東京都	世瀬	認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 「コロナ対応相談等説明会」
6月26日(金) 8月19日(水) 9月9日(水) 8月26日(水) 9月16日(水)	オンライン 鳥取市	白鳥	県商工政策課「鳥取県BCP普及啓発セミナー」 「鳥取県BCP策定ワークショップ(自然災害対応)1」 「鳥取県BCP策定ワークショップ(自然災害対応)2」 「鳥取県BCP策定ワークショップ(新型コロナウイルス対応)1」 「鳥取県BCP策定ワークショップ(新型コロナウイルス対応)2」
7月4日(土)	オンライン 東京都	椿	(一財)地域活性化センター「関係人口を活用し地域に挑戦のエコシステムを生みだす～中間支援機能の役割と意義について～」
8月21日(金)	倉吉地方合同庁舎	毛利	倉吉労働基準監督署「改正労働法等に関する説明会」
9月4日(金) 16日(水)	オンライン 東京都	尾崎 世瀬	認定NPO法人日本NPOセンター「初任者研修」
9月5日(土) ～12日(土)	オンライン 東京都	毛利 池淵	認定NPO法人日本ファンデレイジング協会 「ファンデレイジング日本2020」
9月15日(火)	オンライン 大阪府	谷	NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会 「実践研修」(リスクマネジメント)
9月17日(木)	倉吉交流プラザ	世瀬	鳥取県中小企業労働相談所みなく「労働セミナー」
9月18日(金)	オンライン 岡山県	毛利、椿、谷 寺坂、池淵	中国5県中間支援組織連絡協議会 「NPO法人の終活セミナー」
9月18日(金)	オンライン	椿	I IHOE+ (一財)非営利組織評価センター(JCNE)

10月16日(金) 11月13日(金)	東京都	谷	「支援・評価・助成の基礎と戦略」連続オンライン講座
9月25日(金) 10月6日(金) 10月27日(火) 11月10日(火) 11月17日(火) 12月1日(火) 12月15日(火)	オンライン 東京都	寺坂 池淵	(一社)SDGs市民社会ネットワーク「SDGs市民カレッジ」 オリエンテーション「コロナ時代を生きる私たちのSDGs」 ①貧困×水×エネルギー ②ジェンダー×まちづくり×気候変動 ③格差×消費/生産×海洋、④健康×教育×産業 ⑤食/農業×労働×森林 ⑥市民参加×パートナーシップ
10月30日(金)	オンライン 東京都	池淵 世瀬	NPO支援財団研究会2020WEBシンポジウム 「コロナ時代における助成財団とNPOとのパートナーシップ」
10月30日(金) 11月18日(水) 12月21日(月)	オンライン 鳥取県	椿 谷	県中山間地域政策課 「令和2年度地域ファシリテーター養成研修(初級編)」
11月6日(金)	倉吉市立図書館	世瀬	鳥取県中小企業労働相談所みなくる「労務管理セミナー」
1月19日(火)	オンライン 大阪府	毛利	出口正之研究室(国立民族学博物館)「山岡義典氏に訊く:1980年代 林雄二郎と歩んだ黎明期のフィランソロビー」
1月25日(月)	オンライン 東京都	毛利	日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 「労働者協同組合法成立記念フォーラム」
1月29日(金) 2月3日(水)	オンライン 東京都	椿	ソシオマネジメント第6号「続・小規模多機能自治 地域経営を始める・進める・育てる88のアクション」
3月1日(月)	オンライン 東京都	毛利	認定NPO法人日本ファンドレイジング協会 「社会貢献教育・成果共有セミナー」

＜内部研修＞ 2回

日時	場所	参加者	内容
1月26日(火)	オンライン 事務所	齋藤理事長 他職員10名	「ハラスメント研修」 講師:三ツ國全代(社会保険労務士法人MOYORINO)
3月23日(火)	オンライン 事務所	齋藤理事長 他役職員17名	「コンプライアンス等研修」 講師:春名英介(行政書士法人MOYORINO)

エ 定期協議及び検査等

- ・県県民参画協働課との定期協議 4回 5月25日(月)、7月7日(火)、9月4日(金)、11月15日(金)
- ・市町村担当課との協議(地域づくり・NPO交流会、生活復興支援等)を実施
- ・県行政監察・法人指導課への報告(事業報告1回、役員変更1回、事業計画1回)
県公益認定等審議会「運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査」(県行政監察・法人指導課)の実施
8月20日(木) 事務所
- ・委託事業に関わる担当課による検査の実施
県中部振興課「中部地震生活復興支援事業」4月23日(木) 事務所
県県民参画協働課「県民活動活性化事業」4月27日(月) 事務所
県危機管理政策課「地域防災力強化事業」4月30日(木) 事務所
- ・顧問税理士 野口会計事務所(倉吉市) 月1回協議・確認

オ 職員の採用及び規程の整備

- ・鳥取県中部地震生活復興支援事業に係る非常勤職員を、1名新規採用 4月1日(水)
- ・鳥取県地域防災力強化事業に係る常勤職員を募集し、1名継続採用 4月1日(水)
- ・鳥取県県民活動活性化事業に係る非常勤職員を募集し、1名継続採用 7月1日(水)
募集期間 4月22日(水)～5月12日(火) 面接試験・判定会議 5月24日(日)
- ・コロナ支援等に係るアルバイトを募集し、1名新規採用 10月26日(月)
募集期間 9月29日(火)～10月13日(火) 面接選考:10月16日(金)
- ・休眠預金活用等に係るアルバイトを募集し、2名新規採用 12月1日(火)及び12月2日(水)
募集期間 10月28日(水)～11月16日(月) 面接選考:11月25日(水)

- ・鳥取県中部地震生活復興支援事業に係る非常勤職員を募集し、1名新規採用 令和3年4月1日（木）
募集期間 1月14日（木）～2月16日（火） 面接試験・判定会議 2月27日（土）

2. 公益目的事業

1. 組織基盤強化支援事業

(1) 専門家派遣事業

- NPO等の専門的な相談に対応するために、税理士、行政書士、社会保険労務士、ICT支援アドバイザー等の専門家を、個別に、あるいはセンター事業を通じて派遣した。
- 専門家を構成員とするNPO等支援のためのネットワーク会議を開催した。
- 「とっとりソーシャルビジネスサポートネットワーク」※2の機能を活かすための働きかけを行った。

※2 とっとりソーシャルビジネスサポートネットワーク…平成26年6月30日、県民、特定非営利活動法人、企業など地域社会を構成する様々な主体が推進する共助の活動を支援することを通じて、地域の課題解決や新たな需要、雇用、資金循環を、生み出すことにより、地域の活性化に協力して取組みを推進することを目的に、株式会社日本政策金融公庫鳥・米子支店国民生活事業をはじめ、鳥取県中小企業診断士協会、鳥取県行政書士会及びセンターが締結した協定に基づくネットワーク。

ア 専門家の派遣

- ・派遣実績 20回を目標としたが、新型コロナ感染拡大により、センター事業や出前相談会を企画して進めることが難しく、延べ8回8団体の派遣となった。

	回数	団体数	内容
個別派遣	7回	7団体	ICT支援者×認定NPO法人ハーモニカレッジ（八頭町） 社会保険労務士×NPO法人みつばちネットワーク（鳥取市） 税理士×[NPO法人縦覧中] 糸（倉吉市）、ICT支援者×（社福）敬仁会（倉吉市） 行政書士×認定NPO法人鳥取県自閉症協会（鳥取市） 税理士×あいみ富有の里地域振興協議会（南部町） 税理士×法勝寺地区地域振興協議会（南部町）
センター事業	1回	1団体	ICT支援者×子ども食堂「カントリーキッチンこだま」（米子市）
合計	8回	8団体	

・専門家の登録

登録専門家	東部	中部	西部	計
税理士	2名	3名	4名	9名
司法書士	1名	—	—	1名
行政書士	6名	3名	6名	15名
社会保険労務士	5名	1名	2名	8名
中小企業診断士	1名	1名	5名	7名
ICTアドバイザー	6名	1名	—	7名
計（延べ人数）	21名	9名	17名	47名
実人数合計	17名	8名	16名	41名

イ 専門家支援ネットワーク会議

- 第1回 10月26日（月）センター事務所（オンライン活用） 参加11名（うち専門家9名）＋職員
 ・ケーススタディの実施 参加団体：NPO法人ひだまり（米子市）
 ・NPOの組織基盤強化支援の取組共有等
- 第2回 3月2日（火）センター事務所（オンライン活用） 参加13名（うち専門家11名）＋職員
 ・ケーススタディの実施 参加団体：NPO法人鹿の助スポーツクラブ（鳥取市）
 ・労働者協同組合法の共有等

※「とっとりソーシャルビジネスサポートネットワーク」構成団体の日本政策金融公庫鳥取支店より各回1名参加

(2) NPO経営実態把握事業

- 県のホームページに掲載されている公開情報、アンケート（従来の調査とは異なる意向調査等を含む簡易なもの）、訪問又は電話による聞き取りにより、NPO法人の経営実態を調査し、相談対応及び伴走支援

等の基礎資料となる「NPO経営実態資料」（収支構造や雇用等経営状況、会計事務等の運営状況及び情報収集・発信等の活動状況並びにそれらの課題をとりまとめた資料）を更新、整備した。

ア アンケート調査の実施

- ①「新型コロナウイルス感染拡大の影響及び対応に関する鳥取県内のNPO等への緊急アンケート」実施
 - ・実施期間：4月10日（金）～17日（金）
 - ・回収数：89団体／送付数421団体（うちNPO：61法人／送付数284法人）＋SNS等で周知
- ②「新型コロナウイルス感染拡大の影響と対応及びSDGsへの取り組み等に関する鳥取県内のNPO等へのアンケート」実施
 - ・実施期間：8月25日（火）～9月9日（水） 延長〆切：9月30日（水） 再延長〆切：10月30日（金）
 - ・回収数：NPO53法人／送付数279法人

	合計	東部	中部	西部
NPO法人向け アンケート集計数（率）	53／279 （19%）	25／135 （19%）	7／35 （20%）	20／109 （18%）

イ 訪問又は電話による聞き取り

- ・更新データ件数（経営実態資料）及び聞き取り（訪問又は電話による聞き取り調査）の目標数30NPO法人
実績：30NPO法人（東部15、中部5、西部10）

<聞き取り先>

	聞き取り先団体
東部 15	NPO法人さじ未来（鳥取市）、NPO法人鹿の助スポーツクラブ（鳥取市）、認定NPO法人鳥取県自閉症協会（鳥取市）、認定NPO法人ハーモニカレッジ（鳥取市）、NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク（鳥取市）、NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会（鳥取市）、NPO法人万葉のふるさと国府創生会（鳥取市）、NPO法人鳥取・森のようちえん・風りんりん（鳥取市）、NPO法人トラベルフレンズとっとり（鳥取市）、NPO法人学生人材バンク（鳥取市）、認定NPO法人十人十色（鳥取市）、NPO法人OMU（鳥取市）、NPO法人つばみ畑（鳥取市）、NPO法人智頭の森こそだち舎（智頭町）、NPO法人若桜・こらぼ企画（若桜町）
中部 5	NPO法人ふるさと遊楽舎館（倉吉市）、NPO法人四つ葉（倉吉市）、NPO法人琴浦立子谷ふるさとプロジェクト（琴浦町）、NPO法人糸（倉吉市）、NPO法人一粒の麦（倉吉市）
西部 10	NPO法人鳥取県医療連携ネットワークシステム協議会（米子市）、NPO法人保育サポータークローバーキッズ（米子市）、NPO法人志塾フリースクール（米子市）、NPO法人ひだまり（米子市）、NPO法人西部ろうあ仲間サロン会（米子市）、NPO法人米子ボート協会（米子市）、NPO法人大地（日吉津村）、NPO法人YSSだいせん（大山町）、NPO法人大山綿の花（大山町）、NPO法人こうふのたより（江府町）

ウ NPO経営実態資料の作成

- ・NPO法人の活動計算書等、県ホームページ掲載の公開情報を分析した結果を、鳥取大学地域学部の竹内潔講師及び同研究室の学生と共同で取りまとめ、調査報告書として作成、公開した。
- ・上記結果をNPO法人毎にファイリングした資料を作成した。

(3) NPO事務力強化事業 【令和2年度は自主事業】

○新型コロナウイルス感染拡大によって組織運営に困難を抱えたNPO法人のために、総会開催方法等をテーマにしたセミナーを開催した。

ア NPO事務力セミナー

	日時	内容	参加人数
オンライン	5月22日（金）	総会開催方法等、新型コロナ対応のための「NPO事務力ミニセミナー」	12名
オンライン	9月18日（金）	弁護士、税理士、司法書士による「NPO終活セミナー」 主催：中国5県中間支援組織連絡協議会（グランチ岡山北長瀬ハッシュタグ）	34名 うち鳥取県5名

イ NPO法人事務説明会

県各振興課と共同で行う「NPO法人事務説明会」は実施せず、NPO法一部改正（12月1日）及び労働

者協同組合法成立（１２月２日）を、「センターつうしん」等で周知した。

（４）非営利組織基盤強化・評価推進事業【自主事業】

○NPO等の組織力強化・ガバナンスの向上を図り、社会的信用を高めるため、組織基盤強化支援を行うとともに、積極的な情報公開・情報発信を促した。

ア 非営利組織評価推進事業

- ・（一財）非営利組織評価センター（JCNE）との連携

JCNE「評価・認証制度説明会」７月７日（火）オンライン 参加：毛利、池淵

JCNE「アドバンス評価員実地研修」９月１日（火）NPO法人こども未来ネットワーク（倉吉市） 参加：寺坂

JCNE「ベーシックガバナンスチェック評価実績レポート発行記念報告会」２月２５日（木）オンライン 参加：寺坂

①「ベーシックガバナンスチェック」※３…県内２団体：NPO法人米子ボート協会、センター

②「グッドガバナンス認証」※４…県内なし

※３ 「ベーシックガバナンスチェック」…JCNEの評価基準２３項目に基づき、団体運営の基本についてセルフチェックと提出書類をもとに組織評価を行っている。継続的に第三者評価を受け、情報開示に積極的な透明性の高い団体として、JCNEが支援を推奨している。

※４ 「グッドガバナンス認証」…組織運営やガバナンスが一定水準以上のレベルの非営利組織を認証。組織内部の状況を第三者機関に開示して、信頼性・透明性の向上に努めている団体、課題がある場合も見直し、改善していく姿勢や意欲がある団体。

イ 休眠預金（コロナ枠）採択団体に対する組織評価及び伴走支援

コロナ禍において持続可能な組織基盤強化を目的に実施する休眠預金等活用事業「新型コロナウイルス対応緊急支援助成（コロナ枠）」の採択団体に対して、規程類の作成、組織診断や事前評価の支援を行った。

ウ 民間助成制度を活用した組織基盤強化支援

- ・「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」の計画段階（１年目）で採択されたNPO法人智頭の森こそだち舎の申請支援、採択後の事業支援（１～８月）及び実施段階（２年目不採択、申請継続予定）にむけた申請支援を行った。

組織診断での協力：景山浩中小企業診断士

資金調達での協力：オンライン「ファンドレイジング研修」 ①７月５日（日）、②７月１１日（土）

講師：船崎美智子（認定ファンドレイザー [山口県]）

- ・コロナに立ち向かう団体に対して「J-COIN基金」助成の申請支援（５～６月）…１団体採択
- ・（公財）SONPO福祉財団「認定NPO法人取得資金助成」の申請支援（９～１０月）…２団体不採択

（５）助成金活用促進事業

○県内外の助成金情報を紹介し、効果的な活用を促す「助成金合同説明会」を開催するとともに、センターが募集する補助金の周知を行った。

ア 助成金活用セミナー

県内外の助成団体及び助成を受けた団体の説明・事例発表を受け、個別相談会を実施し、申請及び採択団体の拡大を図った。

		内容	参加人数
オンライン	５月２８日（木）	民間助成金&新型コロナ関連支援プログラム等説明会及び意見交換会 ・助成金の活用について 説明：毛利薬（センター事務局長） ・新型コロナ関連支援プログラム 説明：椿善裕（センター企画員） ・県内助成団体の説明：とりぎん青い鳥基金 松本公彦（株式会社鳥取銀行営業統括部地方創生グループ担当部長）	２６名
オンライン	第１回 ８月１８日（火） 第２回	NPO等を対象とした、休眠預金（コロナ枠）緊急支援助成等新型コロナウイルス対応支援制度説明会&個別相談会 ・新型コロナ対応支援助成制度 説明：椿善裕（センター企画員）	第１回 ２６名 第２回

	8月23日(日)	*休眠預金等活用法に基づく新型コロナウイルス対応緊急支援助成の説明 松村渉(NPO法人ひろしまNPOセンタープロジェクトリーダー) 松林安美(センター事務局員)	13名
オンライン *協力 企画	3月4日(木)	ドコモ市民活動団体助成事業助成プログラム公募説明会&助成金活用セミナー ・ドコモ市民活動助成プログラム 説明:NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド事務局 ・助成金活用セミナー 講師:川北秀人(人と組織と地球のための国際研究所[I I HOE]代表) *主催:NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド 協力:(公財)ふるさと島根定住財団、センター	38名 うち鳥取県 4名

イ 民間助成制度説明会&相談会(県の地域づくり団体助成事業説明会と同時開催)

新型コロナウイルス感染拡大により、県の地域づくり関係助成事業説明会が開催されなかったため、民間助成金情報及びその活用に関する資料を配布し、県のホームページで公開した。また、センターが実施する補助金・助成金等の情報は、NPO法人等への郵送及びセンターホームページにより周知を図った。

(6) 控除対象特定非営利活動法人指定支援補助金交付事業【補助事業】

○鳥取県のNPO法人の条例個別指定制度に基づき指定を受けようとするNPO法人が司法書士等に相談する際の経費に対する補助金について、交付決定を1件行ったが、取下げにより交付には至らなかった。

- ・補助額上限 15万円/件 NPO法人 2件程度 補助率3/4
- ・募集期間 9月9日(水)～10月30日(金) ・県内NPO等(400ヶ所以上)へ周知
- ・認定や指定の可能性があるNPO法人へ申請の呼びかけを行った(相談対応1件)。

申請1団体 採択1団体 取下(廃止)1団体

	交付決定団体	所在地	交付決定額	交付結果
西部	NPO法人発達障がい親の会CHERRY	米子市	150,000円	取下 0円

(7) とっとりSDGs推進補助金交付事業【補助事業】

○SDGsの達成に向けて積極的に取り組む地域づくり団体やNPO法人等の広報活動及び研修等の開催支援、若者が取り組むSDGsの普及啓発活動を支援した。

① 広報活動支援型

- ・交付対象:パンフレット・リーフレット等の冊子作成、ホームページの作成・改修(掲載用の映像・動画を含む)
- ・補助上限額 11万2千円/件(補助率3/4)14件程度 県内NPO等(400ヶ所以上)へ周知
予算総額150万円に対して11団体1,111,000円の交付を確定

	1次募集	2次募集
募集期間	5月25日(月)～7月3日(金)	9月30日(水)～10月28日(水)
審査会	8月6日(木) センター事務所	11月5日(木) センター事務所
申請・採択件数	申請6団体 採択6団体	申請6団体 採択6団体
交付決定額	669,000円	652,000円
交付確定額	628,000円	483,000円
交付決定団体	【東部】浜湯山・多鯉ヶ池活性化委員会(鳥取市)、 とっとり震災支援連絡協議会(鳥取市)、NPO法人 ねっこ(鳥取市) 【中部】NPO法人養生の郷(倉吉市)、倉吉市体験 型教育旅行誘致協議会(倉吉市) 【西部】NPO法人サポートいるか(米子市)	【東部】市民エネルギーとっとり(鳥取市)、NP O法人賀露おやじの会(鳥取市) 【中部】ダンスTUBEプロジェクト「鳥取HA KKA」(倉吉市) 【西部】NPO法人発達障がい親の会CHERR Y(米子市)、遠距離介護支援協会(米子市) *「NPO法人YSSたいせん(大山町)(取下)

- ・3次募集 11月6日(金)～12月4日(金) 申請団体なし

② 研修等支援型

- ・交付対象：講師等を招いて広く県民を対象に開催する研修会等の謝金及び旅費
センターが認める全国研修等への参加に要する交通費・宿泊費
- ・補助上限額 5万円/件（研修会等（規模が大きい場合）10万円/件）（補助率10/10）15件程度
予算総額75万円に対して5団体230,000円の交付を確定 県内NPO等（400ヶ所以上）へ周知

	1次募集	2次募集
募集期間	5月25日（月）～7月3日（金）	9月30日（水）～10月28日（水）
審査会	8月6日（木） センター事務所	11月5日（木） センター事務所
申請・採択件数	申請3団体 採択3団体	申請3団体 採択3団体
交付決定額	130,000円	150,000円
交付確定額	80,000円	150,000円
交付決定団体	【東部】 にほんごがくしゅうかい（鳥取市） 【中部】NPO法人こども未来ネットワーク（倉吉市） 【西部】＊地域自主組織ふれあいの郷かわら山（大山町）（取次）	【東部】NPO法人学生人材バンク（鳥取市）、冒険あそび場IWAMI（鳥取市） 【西部】NPO法人発達障がい親の会CHERRY（米子市）

- ・3次募集 11月6日（金）～12月4日（金） 申請団体なし

③ 若者団体活動支援型

- ・交付対象：若者が中心となって（16歳～29歳の者が2/3以上、3名以上の団体）、県内で実施する活動を地域に普及啓発する取組
- ・補助上限額 10万円/件（補助率10/10）5団体程度 県内NPO等（400ヶ所以上）へ周知
予算総額50万円に対して2団体113,516円の交付を確定
- ・スタートアップ研修会

①10月8日（木） 県立人権ひろば21ふらっと

参加：4団体4名（TORICEF、鳥取県ユニセフ協会、イッポラボ、センター）

②10月20日（火） 鳥取城北高校

参加：4団体約25名（鳥取城北高校、株式会社AKARI BREWING

株式会社ソフトバンクCSR統括部、センター）

	1次募集
募集期間	6月22日（月）～9月30日（水） 随時受付
申請・採択件数	申請2団体・採択2団体
審査会	①8月19日（水） オンライン、②10月7日（水） オンライン
交付決定額	142,000円
交付確定額	113,516円
交付決定団体	【東部】 ①TORICEF（鳥取市）、②鳥取城北高校アントレプレナー部（鳥取市）

- ・2次募集 10月13日（火）～12月4日（金） 申請団体なし

2. 地域づくり活動支援の輪を広げる取組【地域で支える】

（1）企業との連携による県民運動の拡大

○商工団体等と連携して、「ヒト」「モノ」「カネ」「ノウハウ」等多様な資源を擁する企業とNPO等とのマッチングを行い、企業自身の社会貢献・CSR活動、SDGs経営にむけた取組の推進を図った。

ア CSRマッチングセミナー

SDGsの理解を深め、企業、NPO等が行うSDGsの動きを紹介するセミナーを開催した。（3回）

後援：鳥取商工会議所、米子商工会議所、倉吉商工会議所

	日時	内容・講師（事例報告者）等	参加人数
オンライン	11月20日（金）	講演「社会貢献とビジネスを両立させた『寄付つき商品』企画の作り方」 講師 久津摩和弘（（一社）日本地域福祉ファンドレイジングネットワークCOMNET理事長） ＊子どもの権利条約について 奥谷仁美（鳥取県ユニセフ協会事務局長） <SDGs推進事例報告>	33名 うち講師1 報告者4 県1

		①小西正剛（株式会社ホープタウン〔宮脇書店〕取締役副社長）（米子市） ②吉田美麻（株）鳥取フーズ北海道居酒屋北の大地代表取締役（鳥取市） ③VAIDYA ARIJA（東亜青果（株）食品部国際業務コーディネーター）（米子市） ＊「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン」スタート	センター８
オンライン	１２月 １７日 （木）	第１部：講演「コロナ後の世界とSDGｓ～寄付する人 渋谷栄一に学ぶ～」 講師 渋谷健（コモンズ投信株式会社取締役会長、渋谷栄一５代目子孫） 第２部：とっとりSDGｓ推進会議×とっとりSDGｓパートナー活動交流会 ＜SDGｓ推進事例報告＞ ①大堀貴士（認定NPO法人ハーモニカレッジ理事長）（鳥取市） ②大田康一郎（学校法人柳心学園地域振興室副室長）（米子市） ＊県新時代・SDGｓ推進課受託事業の一環で開催	４７名 うち講師１ 報告者２ 県２ センター１０
オンライン	１２月 ２３日 （水）	講演「SDGｓの達成に資する企業の活動～地方創生と企業の成長～」 講師：長澤恵美子（（一社）日本経済団体連合会SDGｓ本部統括主幹） ＜SDGｓ推進事例報告＞ ①松本安弘（大成工業（株）TSS事業部部長）（米子市）	３０名 うち講師１ 報告者１、県１ センター８

イ 働き方改革（余暇を使った社会貢献活動）セミナー

SDGｓの理解を深め、企業、NPO等が連携して行う余暇を使った社会貢献活動の動きを紹介するセミナーを開催した。

	日時	内容・講師（事例報告者）等	参加人数
オンライン	２月 １７日 （水）	本業+αで社会貢献セミナー 講師：東郷琴子（パナソニック株式会社ブランド戦略本部CSR・社会文化部主幹） 及び同社社員、プロボノワーカー ※プロボノ成果報告会及びワーカー育成研修との合同企画	３６名 うち講師２ 報告者３、県１ センター７

ウ 寄付つき商品開発普及、プロボノプロジェクト参加促進等、企業への個別働きかけ

延べ２５日の目標に対して、延べ２７日（企業等数５２社）、寄付つき商品やプロボノプロジェクトへの参加促進等の働きかけを企業に行った。

No.	訪問日	企 業 名
①	６月１６日（火）	明治安田生命保険相互会社鳥取支所（鳥取市）
②	８月４日（火）	明治安田生命保険相互会社鳥取支所（鳥取市）
③	８月１４日（金）	てんまり（鳥取市）、株式会社鳥取フーズ〈北の大地〉（鳥取市）
④	８月２４日（月）	コカ・コーラボトラーズ株式会社米子営業所（米子市）、ジンギスカン焼肉ジンジン（米子市）
⑤	９月１１日（水）	米子商工会議所（米子市）
⑥	９月１４日（月）	日本たばこ産業株式会社鳥取支店（鳥取市）
⑦	１０月２日（金）	大成工業株式会社（米子市）
⑧	１０月５日（月）	株式会社ダブルノット（八頭町）
⑨	１０月１６日（金）	倉吉商工会議所（倉吉市）
⑩	１０月２８日（水）	有限会社鶴乃薺（倉吉市）
⑪	１０月２９日（木）	株式会社ホープタウン（米子市）、〔以下、ホープタウン内〕花shopまつだ（米子市）、和食処やじきた（米子市）、お肉のなべさん（米子市）、ジェイズエビキ エビキ宝飾店（米子市）
⑫	１０月３０日（金）	鳥取商工会議所（鳥取市）
⑬	１１月２日（月）	梅津酒造有限会社（北栄町）、有限会社鶴乃薺（倉吉市）、〔以下、パープルタウン内〕バッグみよしや（倉吉市）、クロスロード（倉吉市）
⑭	１１月４日（水）	〔以下、ホープタウン内〕和食処やじきた（米子市）、花shopまつだ（米子市）
⑮	１１月７日（土）	倉吉赤瓦shirakabe sandwich（倉吉市）
⑯	１１月９日（月）	東亜青果株式会社（米子市）、ネルドコーヒー（湯梨浜町）、とん吉（湯梨浜町）
⑰	１１月２０日（金）	〈第１回CSRマッチングセミナー参加企業〉 大成工業株式会社（米子市）、リコージャパン株式会社鳥取支社（鳥取市）、木のおもちゃ・わらべうた 子己庵（境港市）、株式会社中海テレビ放送（米子市）、株式会社ホープタウン（米子市）、株式会社鳥取フーズ〈北の大地〉（鳥取市）、東亜青果株式会社（米子市）
⑱	１１月２４日（火）	寿製菓株式会社（米子市）

①⑨	12月17日(木)	《第2回CSRマッチングセミナー参加企業》 大成工業株式会社(米子市)、リコージャパン株式会社鳥取支社(鳥取市)、株式会社中海テレビ放送(米子市)、株式会社鳥取銀行(鳥取市)、株式会社エナテクス(倉吉市)、株式会社山陰合同銀行地域振興部(松江市)、三井住友海上火災保険株式会社鳥取支社(鳥取市)、学校法人柳心学園(米子市)、株式会社百年人(鳥取市)、弁護士法人河本・森法律事務所(鳥取市)、株式会社山陰放送(米子市)、美保テクノス株式会社(米子市)、株式会社スペック(米子市)、ローカルエナジー株式会社(米子市)
②⑩	12月23日(水)	《第3回CSRマッチングセミナー参加企業》 大成工業株式会社(米子市)、株式会社鳥取銀行(鳥取市)、株式会社山陰合同銀行地域振興部(松江市)、株式会社百年人(鳥取市)、株式会社エナテクス(倉吉市)、学校法人かみいけ幼稚園かみいけ心正こども園(米子市)、株式会社石田コーポレーション(米子市)、みつわ環境開発株式会社(米子市)、ヤマタホールディングス株式会社(鳥取市)
②⑪	1月7日(木)	株式会社鳥取フーズ《北の大地》(鳥取市)、梅乃井(鳥取市)、株式会社鳥取銀行(鳥取市)
②⑫	1月12日(火)	株式会社鳥取銀行(鳥取市)、中国労働金庫鳥取県営業本部(鳥取市)
②⑬	1月13日(水)	智頭石油(智頭町)
②⑭	1月14日(木)	株式会社山陰合同銀行倉吉支店(倉吉市)
②⑮	1月15日(金)	合同会社CONNECT(鳥取市)
②⑯	1月19日(火)	新日本海新聞社(鳥取市)
②⑰	2月17日(水)	《働き方改革セミナー参加企業》 大東建設株式会社鳥取支店(鳥取市)、ソフトバンク(株)広島オフィス(広島市)、株式会社山陰合同銀行地域振興部(松江市)、株式会社メモワールイナバ(鳥取市)

(2) 寄付つき商品開発普及事業

○寄付つき商品(「お買い物チャリティー」等)に新たに組みたい企業等と活動団体とをマッチングし、開発支援及び広報を進めた。実施にあたっては、平成31年度(令和元年度)に引き続き、「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン」(11~12月)と併せて行った。

・マッチング 10件の目標に対して、継続を含め23件

(令和2年度分の寄付金確定額の総額 307,209円、絵本3冊)

ア 寄付つき商品 通年実施分 実施数2件(うち継続2件) 寄付先団体2団体

	企業名	商品名	寄付内容	寄付先団体
中部	(株)ウッドプラスチックテクノロジー (平成29年度~)	ブルーシードバック	購入 1枚につき390円	復興支援隊 縁
西部	寿製菓(株) (平成29年度~)	スタミナ納豆の素	購入 1袋につき10円	こども食堂とみんなの居場所ほっとこ

イ とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン

国連総会で子どもの権利条約が1989年11月20日(世界子どもの日)に採択されて30年目にあたる昨年度スタートした「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン」を引き続き実施した。

12月の全国寄付月間を含む11月20日~12月31日をキャンペーン期間とし、県内で子ども・子育て支援活動を行う15団体を寄付先対象として「お買い物チャリティー」及び「カンパイチャリティー」を実施した。

・実施数22件(うち新規12件、継続10件) 寄付先団体15団体

昨年度のキャンペーンウェブサイトを活用し、チラシ、店舗用ポップ等を作成配布

寄付金額 254,509円 絵本 3冊

・キャンペーン広報 ウェブサイト制作 新聞広告掲載(日本海新聞12月6日付)

マスコミ等への資料提供6回 チラシ1,000枚、店舗用ポップ50枚を作成配布

協力:鳥取県ユニセフ協会(鳥取市) 後援:鳥取県、米子商工会議所

<キャンペーン参加企業・店舗>

・お買い物チャリティー 寄付総額(平成31年度分確定) 4件 93,990円

寄付総額(令和2年度分確定) 13件 126,140円 絵本3冊

キャン ペーン 参加	新規 又は 継続	企業等名 店舗名	寄付内容	寄付先団体	令和2年度 確定・寄贈	
					平成31年度 寄付金額	令和2年度 寄付金額
○ 通年 実施	継続	株式会社寿製菓 (米子市)	スタミナ納豆の素 (150g入り) 1袋につき10円	こども食堂とみんなの居 場所ほっとここ(倉吉市)	平成31年度 27,370円	16,880円 寄贈式 3月30日(火)
	—	あすなろ手芸店 (智頭町)	鳥取オリジナルブロー チ1個につき10円	NPO法人学生人材バン ク(鳥取市)	平成31年度 5,000円	—
	—	ジーマックス株 式会社(福岡市)	ラジエントヒーター 1ヶ月レンタル 1契約につき100円	災害食レスキュー114 9(鳥取市)	平成31年度 0円	—
通年 実施	継続	株式会社ウッド プラスチックテ クノロジー (倉吉市)	ブルーシードバック 1枚につき390円	復興支援隊縁(倉吉市)	平成30年度 ～令和2年度 61,620円 寄贈式 4月18日(木)	
○	継続	木のおもちゃ・わら べうたここあん(子 己庵)(境港市)	木のおもちゃ、アナロ グゲームの5%	チャイルドラインうさぎ のみみ(倉吉市)		17,560円 寄贈 1月27日(水)
○	新規	花ShoPまつ だ(米子市)	プリザーブドフラワ ー・シャボンフラワー 1点につき100円	子どもの人権広場 (米子市)		2,500円 寄贈 3月1日(月)
○	新規	エビキ宝飾店 (米子市)	期間中全商品売上の 1%(修理加工を除く)	チャイルドラインうさぎ のみみ(倉吉市)		6,000円 寄贈 3月12日(金)
○	継続	ホープタウン (宮脇書店) (米子市)	絵本・児童書レシート 20枚で絵本1冊	(乳児院)米子聖園ベビ ーホーム(米子市)		絵本3冊 寄贈 2月5日(金)
○	新規	お肉のなべさん 米子ホープタウ ン店(米子市)	国産とうはく豚肩・モ モ切り落とし 売上の5%	とっとり子どもの居場所 ネットワーク“えんたく” (鳥取市)		32,000円 寄贈 3月9日(火)
○	新規	東亜青果(株) (米子市)	ネパール産コーヒー 売上の一部	子どもの人権広場 (米子市)		20,000円 寄贈式 3月1日(月)
○	新規	梅津酒造(有) (北栄町)	応援の酒かす 1つにつき10円	虹の会(不登校の障害・ひ きこもりの会)(北栄町)		5,000円 寄贈式 5月1日(土)
○	継続	てぬぐい工房ら っぷ(倉吉市)	1,000以上の手ぬ ぐい1枚につき50円	NPO法人こども未来ネ ットワーク(倉吉市)、鳥取 県ユニセフ協会(鳥取市)		4,000円 寄贈 1月27日(水)
○	新規	(有)鶴乃薺 (倉吉市)	ヨーコブッシュとマジ ャールケーキセット1 セットにつき100円	NPO法人こども未来ネ ットワーク(倉吉市)		3,200円 寄贈 1月27日(水)
○	継続	ネルドコーヒー (湯梨浜町)	コーヒー売上の一部	夢っこクラブ(湯梨浜町)		7,000円 寄贈 2月9日(火)
○	継続	We bもり (鳥取市)	11月28セミナー 参加費全額	Tottori Mama 's(鳥取市)		12,000円 寄贈 3月26日(金)

・カンパイチャリティー 寄付総額(令和2年度分確定) 11件 181,069円

キャン ペーン 参加	新規 又は 継続	企業等名・店舗名	寄付内容	寄付先団体	令和2年度に 確定・寄贈した 寄付金額
------------------	----------------	----------	------	-------	---------------------------

○	新規	和食処やじきた (米子市)	日本酒 1杯につき10円	とっとり子どもの居場所ネットワーク “えんたく” (鳥取市)	11,109円 寄贈(振込) 2月5日(金)
○	継続	美酒佳肴ゆらく (米子市)	日本酒 1杯につき10円	NPO法人発達障がい児親の会C HERRY (米子市)	11,230円 寄贈式:調整中
○	新規	Sun-inまひろ (米子市)	期間中対象イベントの 売上の5%	Tottori Mama's (鳥取市)	14,400円 寄贈式:調整中
○	新規	ジンギスカン焼肉ジン ジン (米子市)	アルコールドリンク 1杯につき10円	NPO法人保育サポータークロ バーキッズ (米子市)	58,900円 寄贈式:調整中
○	新規	薬膳食堂大挾 (倉吉市)	陰陽薬膳ランチ 1食につき10円	NPO法人こども未来ネットワ ーク (倉吉市)、チャイルドラインう さぎのみみ (倉吉市)	830円 寄贈 3月16日(火)
○	新規	倉吉赤瓦shirakabe sandwich (倉吉市)	とどろきナンコツ 1袋につき100円	チャイルドラインうさぎのみみ (倉吉市)	3,000円 寄贈:調整中
○	新規	とんかつ専門店とん吉 (湯梨浜町)	週替りお弁当 1個につき50円	ほっとここ (倉吉市)	5,000円 寄贈式:調整中
○	継続	北海道居酒屋北の大地 (鳥取市)	ドリンク 1杯につき10円	Tottori Mama's (鳥取市) 歯っぴいほっとスマイル (鳥取市)	9,680円 寄贈式:調整中
○	継続	鳥取の地酒と魚とんま り (鳥取市)	生ビール 1杯につき50円	NPO法人鳥取・森のようちえん・ 風りんりん (鳥取市)、冒険あそび 場IWAMI (岩美町)	9,000円 寄贈式:調整中
○	継続	梅乃井 (鳥取市)	ドリンク 1杯につき10円	とっとり子どもの居場所ネットワ ーク “えんたく” (鳥取市)	5,220円 寄贈式:調整中
イベ ント 実施	新規	Sun-inまひろ (米子市)	屋台取扱い商品(チェ ロス、イカ焼き、たこ焼 き等)売上の5%	子どもの人権広場 (米子市)	52,700円 寄贈式:調整中

(3) 民間協働型活動支援事業【自主事業】

○企業及び県内外の支援団体と連携し、資金、物品、ノウハウ等の支援プログラムを実施し、寄付文化醸成のイベント等を「全国寄付月間(12月)」やSDGs推進の取組と連携して開催した。

ア 寄付文化醸成、寄付活動活性化のためのイベント等の開催

- ・寄付月間2019企画大賞「寄付でつなぐ 未来へのバトン」～センターが賛同パートナー賞を受賞
*寄付月間推進委員会 委員長 小宮山 宏(株式会社三菱総合研究所 理事長)
- ・「とっとりカンパイチャリティ」:「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン」と連動して実施
NPO等の登録及び店舗への呼びかけ 20店舗程度の目標に対して20店舗呼びかけ(うち実施10店舗)
寄付金贈呈式 3月1日(月)(株)東亜青果
- ・参加型寄付のしくみづくりの検討及びトークイベント(活動団体交流会)の開催 1回(12月)
12月17日(木)オンライン「とっとりSDGs推進会議×とっとりSDGsパートナー活動交流会」

イ とっとりイーパーツリユースPC寄贈プログラム等

NPO等を対象として、企業等が行う寄贈プログラムと連携・協力して、受贈団体とのマッチングを行った。

①第7回イーパーツリユースPC寄贈プログラム(リサイクルパソコン等の寄贈)

認定NPO法人イーパーツ(東京)との協働事業

協力団体 鳥取県社会福祉協議会、鳥取市社会福祉協議会鳥取市ボランティア・市民活動センター
倉吉市社会福祉協議会、米子市社会福祉協議会

- ・募集期間 5月25日(月)～8月17日(月) ・審査会 8月28日(金) 県民ふれあい会館
- ・申請17団体(ノートPC29台、デスクトップPC2台、プリンター2台)
- ・採択14団体(ノートPC25台、デスクトップPC1台、プリンター2台)

- ・寄贈式 10月3日（土）オンライン開催 参加14団体23名

講師：会田和弘（認定NPO法人イーパーツ常務理事・事務局長）

	東部（6団体）	中部（2団体）	西部（6団体）
寄贈品	ノートPC9台 プリンター1台 デスクトップPC1台	ノートPC3	ノートPC13台 プリンター1台
寄贈団体	NPO法人万葉のふるさと国府創生会（鳥取市）、（一社）五しの里地域協議会（鳥取市）、（一社）アートのスペースからふる（鳥取市）、鳥取県里親会（鳥取市）、認定NPO法人ハーモニカレッジ（鳥取市）、NPO法人智頭の森こそだち舎（智頭町）	遊遊ひろばを楽しむ会（湯梨浜町）、琴浦まちづくりネットワーク（琴浦町）	NPO法人希望の星（米子市）、NPO法人鳥取県障害者就労事業支援センター（米子市）、NPO法人大山綿の花（米子市）、地域自主組織ふれあいの郷かわら山（大山町）、NPO法人YSSだいせん（大山町）、ホウキっこ・チリトリおとな（伯耆町）

②明治ホールディングス株式会社の株主優待（子どもたちへのお菓子の寄贈）

認定NPO法人日本NPOセンターの呼びかけに応え、県内の支援団体等と協議を行い、推薦する寄贈先団体を決定し、寄贈者で構成する委員会等で寄贈先団体決定後、送られてきたお菓子を寄贈先団体に届けた。

寄贈先団体数 5団体（1団体あたり市価4～5万円程度のお菓子を贈呈） 寄贈時期：12月

寄贈対象「東日本大震災で広域避難した子ども達」「障がいのある子ども」を対象に活動・支援を行う団体

	対象テーマ	採択団体
東部	東日本大震災で広域避難した子ども	とっとり震災支援連絡協議会（鳥取市）
	障がいのある子ども	NPO法人つばみ畑（鳥取市）
	障がいのある子ども	NPO法人岩美障がい児者親の会ぴゅあふれんず（岩美町）
中部	障がいのある子ども	虹の会「不登校や障害・ひきこもりの親の会」（琴浦町）
西部	障がいのある子ども	NPO法人希望の星（米子町）

③鳥取県生活協同組合が取り組む「フードドライブ」事業の連携企画（食品の寄贈）

鳥取県生活協同組合からの食品寄贈を受け、県内の支援団体等と協議の上、寄贈先団体をマッチングし、ジュース、米、乾麺、お菓子等の食材を届けた。

	寄贈先団体	寄贈式
東部	きりんのまち・愛プロジェクト（鳥取市）	12月10日（木）鳥取市岩倉地区公民館

ウ ごうぎんSDGs私募債（地域おこし型・NPO）寄贈事業

山陰合同銀行及び私募債発行企業との協働事業 私募債発行時に発行金額の0.2%を寄贈

- ・私募債発行企業の希望を尊重しながら、センター登録団体とのマッチングを行った。

マッチング数 1件 寄贈額 14万円

	寄贈企業	寄贈先団体	寄贈式
東部	株式会社エム・シー（大阪府）	認定NPO法人鳥取県自閉症協会（鳥取市）	8月5日（水）寄贈先団体事務所

エ 中国ろうきんNPO寄付システム

中国5県でNPO支援に取り組む5つの中間支援組織と中国労働金庫の協働事業

中国労働金庫の普通預金口座を通じて、福祉や環境などNPO法上の19の活動分野毎に入金された県内の寄付金（1ヶ月1口1000円）を、NPO法人に配分した。

- ・助成額 5万円/件 ・助成対象 NPO法人
- ・募集時期 12月1日（火）～12月23日（水） ・審査会 1月12日（火）センター事務所
- ・寄付金贈呈式 [東部] 2月8日（月）中国労働金庫本店営業部 参加3団体3名
[中部] 2月8日（月）中国労働金庫倉吉支店 参加3団体3名
[西部] 2月12日（金）中国労働金庫米子支店（2回） 参加6団体7名
- ・申請18団体 採択12団体 助成額5万円×12団体＝60万円

	分野	採択団体	寄贈式
東部	まちづくり	NPO法人鳥取・森のようちえん・風りんりん（鳥取市）	2月8日（月）鳥取

	災害救援	認定NPO法人十人十色（鳥取市）	2月 8日（月）鳥取
	子どもの健全育成	認定NPO法人ハーモニカレッジ（鳥取市）	2月 8日（月）鳥取
	子どもの健全育成	NPO法人TOS S鳥取（鳥取市）	2月 8日（月）倉吉
中部	まちづくり	NPO法人養生の郷（倉吉市）	2月 8日（月）倉吉
	学術・文化・芸術・スポーツ	NPO法人あつとほうむ（倉吉市）	2月 8日（月）倉吉
西部	保健・医療・福祉	NPO法人西部ろうあ仲間サロン会（米子市）	2月12日（金）米子
	保健・医療・福祉	NPO法人発達障がい児親の会CHERRY（米子市）	2月12日（金）米子
	災害救援	NPO法人大山綿の花（大山町）	2月12日（金）米子
	子どもの健全育成	NPO法人ひまわり倶楽部（米子市）	2月12日（金）米子
	子どもの健全育成	NPO法人保育サポータークローバーキッズ	2月12日（金）米子
	消費者保護	NPO法人コミュニティネット山陰（米子市）	2月12日（金）米子

- ・シニア向け情報誌『さんぽみち』原稿作成 NPO法人こうふのたより（江府町）

オ あいおいニッセイ同和損保助成プログラム

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社鳥取支社との協働事業

同社の役職員による寄付金（任意の募金制度「MS&ADゆにぞんスマイルクラブ」）と会社からの同額寄付を加えた鳥取県独自の助成プログラムとして実施し、県内のNPO等に助成した。

- ・助成上限額 5万円/件 ・助成対象 NPO等
- ・募集時期 12月21日（月）～1月22日（金） ・審査会 2月3日（水） 倉吉未来中心
- ・寄付金贈呈式 2月24日（水）県民ふれあい会館 参加6団体6名
- ・申請19団体 採択6団体 助成額5万円×6団体＝30万円

	採択団体	
東部	NPO法人OMU（鳥取市）	NPO法人鳥取社会生活サポートセンター（鳥取市）
	ガールスカウト鳥取県連盟（鳥取市）	NPO法人八東川清流クラブ（八頭町）
中部	夢現の風（琴浦町）	
西部	NPO法人おやこサポート小窓（日吉津村）	

カ とりぎん青い鳥基金

鳥取銀行との協働事業として、SDG s（教育活動、まちづくり活動）に関わる活動を支援した。

<上期>

- ・募集期間 4月1日（水）～7月31日（金） ・審査会 9月1日（火）鳥取銀行本店
- ・申請15団体 採択3団体 助成総額700,000円
- ・寄付金贈呈式 採択団体事務所等において実施

	テーマ	採択団体	寄贈式
東部	教育	認定NPO法人ハーモニカレッジ（鳥取市）	10月1日（木）空山ポニー牧場
	教育	浜湯山・多鯨ヶ池活性化委員会（鳥取市）	10月1日（木）同会事務所
西部	教育	NPO法人発達障がい児親の会CHERRY（米子市）	10月2日（金）同会事務所

<下期>

- ・募集期間 10月1日（木）～1月29日（金） ・審査会 2月22日（月）鳥取銀行本店
- ・申請17団体 採択5団体 助成総額1,300,000円
- ・寄付金贈呈式 採択団体事務所等において実施

	テーマ	採択団体	寄贈式
東部	教育	鳥取JAZZ実行委員会（鳥取市）	3月16日（火）同会事務所
	教育	佐治漆研究会（鳥取市）	3月16日（火）同会代表者宅
	まちづくり	一般社団法人SENRO（八頭町）	3月16日（火）同会事務所
西部	まちづくり	彼岸花の里づくりプロジェクト実行委員会（米子市）	3月10日（水）上淀白鳳の丘展示館
	まちづくり	NPO法人YSSだいせん（大山町）	3月10日（水）同会事務所

キ 明治安田生命保険相互会社「私の地元応援基金事業」[鳥取支所]

公募により登録した10団体を同社に推薦し、マッチングを行い、助成先として5団体を採択した。

対象：県東部の子ども・子育て支援等を行う団体

- ・助成総額 417,400円（各8万円×5団体+17,400円〔*センター分〕）
- ・寄付金贈呈式 10月6日（火）明治安田生命保険相互会社鳥取支店 参加：5団体13名

	採択団体	
東部	Tottori Mama's（鳥取市）	産後ケア やわらかい風（鳥取市）
	認定NPO法人ハーモニカレッジ（鳥取市）	NPO法人智頭の森こそだち舎（智頭町）
	子育て支援ネットワーク ぷるじゅくと えん（岩美町）	

ク とっとり“地域の絆”“人々のつながり”エピソード募集事業（鳥取県との共催事業）

- ・募集期間：[一般の部] 11月4日（水）～12月24日（木）
[小学生の部] [中学生・高校生の部] 11月4日（水）～1月12日（火）
- ・審査会：令和新时代創造県民運動推進委員会エピソード審査部会 オンライン1月25日（月）
- ・知事賞 入賞者3名
[一般の部] 副賞1万5千円 [小学生の部] [中学生・高校生の部] 副賞5千円の図書カード
協賛企業賞（佐川急便賞）入賞者3名
[一般の部] 副賞1万5千円 [小学生の部] [中学生・高校生の部] 副賞5千円の図書カード
協賛企業賞（三井住友海上火災保険賞）入賞者3名 *センターを通して副賞を贈呈（2万5千円分）
[一般の部] 副賞1万5千円 [小学生の部] [中学生・高校生の部] 副賞5千円の図書カード
- ・表彰式 2月28日（日）鳥取県立図書館大研修室

ケ 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム事業 [代表・事務局：NPO法人ひろしまNPOセンター]

中国5県のNPO中間支援組織で構成する「中国5県休眠預金等活用コンソーシアム」（以下、「コンソーシアム」という。）として、指定活用団体の（一財）日本民間公益活動連携機構（以下、「JANPIA」という。）が公募した「2019通常枠」（令和元～4年度）の資金分配団体に採択され、令和元年度より島根・岡山・広島県の3県で支援事業がスタートした。

令和2年度は、JANPIAが公募した「新型コロナウイルス対応緊急支援助成枠」（令和2～3年度）、「2020通常枠」（令和2～5年度）に申請を行い、引き続きコンソーシアムとして資金分配団体に採択され、SDGsの理念に基づく課題の解決に向けた助成及び伴走支援等の取組を、鳥取県内でもスタートさせることができた。

<中国5県休眠預金等活用コンソーシアム>

- ・構成団体：[代表団体] NPO法人ひろしまNPOセンター、(公財) ふるさと島根定住財団
NPO法人岡山NPOセンター、NPO法人やまぐち県民ネット21、センター
- ・事前協議（オンライン） 5月8日（金）説明：松村渉（NPO法人ひろしまNPOセンター）
- ・運営委員会（オンライン） 運営委員：毛利（センター事務局長）
第5回 5月11日（月）、第6回 6月1日（月）、第7回 6月8日（月）、第8回 6月29日（火）
第9回 7月31日（金）、第10回 9月23日（水）、第11回 10月19日（月）
第12回 11月27日（金）、第13回 1月6日（水）、第14回 3月10日（水）
- ・内閣府「休眠預金等活用審議会WGヒアリング（オンライン） 12月1日（火）参加：毛利
- ・JANPIA定例ミーティング（オンライン）
8月26日（水）、9月24日（木）、10月29日（木）、11月30日（月）、12月21日（月）
1月25日（月）、2月24日（水）、3月25日（木）
- ・JANPIAプログラムオフィサー集合研修「新型コロナ緊急支援助成、2020通常枠」（オンライン）
11月10日（火）～11日（水）、17日（火） 参加：谷、松林

- ・中国5県定例ミーティング（オンライン）
7月20日（月）、8月26日（水）、9月24日（木）、10月29日（木）、11月30日（月）
12月21日（月）、1月25日（月）、2月24日（水）、3月25日（木）
- ・中国5県実務者ミーティング（オンライン）
7月14日（火）、8月12日（水）、9月25日（金）、10月29日（木）、
11月30日（月）、12月21日（月）、1月25日（月）、2月24日（水）、3月25日（木）
- ・中国5県組織診断研修会（オンライン）
8月26日（水）講師：石原達也（NPO法人岡山NPOセンター代表理事）

①2019年度通常枠

「中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業」採択 ＊鳥取県内実施団体なし
中国5県連携事業等への参加、民間連携で解決を図る課題の設定し、地域の調査を開始した。

②2020年新型コロナウイルス対応緊急支援助成

「中国5県新型コロナ対応緊急支援助成」採択 担当：毛利、椿、松林

- ・申請：6月12日（金） 内定：7月10日（金） 決定：7月17日（金） 契約：8月6日（木）
- ・JANPIA事前個別相談 6月10日（水） オンライン 参加：毛利
個別ヒアリング審査 6月22日（月） オンライン 参加：毛利
内定団体向け説明会 7月13日（月） オンライン 参加：谷、松林

〔県内の実行団体公募・選定の取組〕

- ・募集期間 8月17日（月）～9月4日（金） ・実施期間：契約締結から1年以内
- ・テーマ 子ども・若者・家庭支援
- ・資金的支援〔助成支援〕 助成金額100～200万円程度（上限500万円、助成金総額1,000万円）
非資金的支援〔伴走支援〕 ①組織の持続性、ガバナンス強化〔組織診断、規程類整備〕支援
（月1回以上） ②ロジックモデルによる事業計画（T o C：セオリー・オブ・チェンジ）
資金計画作成支援と進捗管理
- ・説明会 参加のべ39名（うち申請検討団体20団体22名）
〔第1回〕8月18日（火）オンライン 参加26名（うち申請検討団体13団体15名）
〔第2回〕8月23日（日）オンライン 参加13名（うち申請検討団体7団体7名）
- ・個別相談会（7日）参加：25団体38名
- ・メール・電話等による各種相談対応：30団体31名（32回）
- ・申請17団体 ※審査会に向けた個別ヒアリングを実施
- ・審査会 9月23日（水）オンライン（広島）
- ・採択5団体（助成金総額 約1,000万円） 不採択7団体 取下5団体（審査前2、審査後1、内定後2）

	採否	テーマ	申請団体	ヒアリング実施日
東部	採択	子ども・若者・家庭支援	NPO法人智頭の森こそだち舎（智頭町）	9月9日（水）
	採択	地域コミュニティ支援	NPO法人トラベルフレンズ・とっとり（鳥取市）	9月9日（水）
	不採択	高齢者の生活・居場所支援	NPO法人万葉のふるさと国府創生会（鳥取市）	9月8日（火）
	不採択	子ども・若者・家庭支援	NPO法人みつばちネットワーク（鳥取市）	9月10日（木）
	不採択	地域コミュニティ支援	NPO法人鳥取県地域観光推進研究会（鳥取市）	9月8日（火）
	不採択	地域コミュニティ支援	NPO法人さじ未来（鳥取市）	9月11日（金）
	不採択	地域コミュニティ支援	NPO法人グリーンツーリズムもちがせ（鳥取市）	9月8日（火）
中部	採択	子ども・若者・家庭支援	NPO法人こども未来ネットワーク（倉吉市）	9月8日（火）
	不採択	地域コミュニティ支援	NPO法人未来（倉吉市）	9月8日（火）
	審査前取下	高齢者の生活・居場所支援	夢現の風やばせ（琴浦町）	—
西部	採択	障がい者就労・居場所支援	NPO法人大地（日吉津村）	9月10日（木）

採択	高齢者の生活・居場所支援	N. K. C ナーシングコア・コーポレーション合同会社 (米子市)	9月9日 (水)
内定後取下	高齢者の生活・居場所支援	NPO法人ひだまり (米子市)	9月8日 (火)
内定後取下	地域コミュニティ支援	大山移住交流サテライトセンター (大山町)	9月9日 (水)
審査後取下	障がい者就労・居場所支援	NPO法人サポートイルカ (米子市)	9月11日 (金)
不採択	子ども・若者・家庭支援	KSP. f 6 4 (米子市)	9月8日 (火)
審査前取下	障がい者就労・居場所支援	NPO法人ノーム (南部町)	9月9日 (水)

- ・中国5県合同内定団体説明会 10月6日 (火) オンライン 鳥取県参加：1団体2名
10月9日 (金) オンライン 鳥取県参加：6団体10名
- ・NHK取材 1月25日 (月) 日本海新聞掲載 2月6日 (土)
- *2020新型コロナウイルス対応緊急支援助成 [随時募集 (3次)]
「中国5県コロナ対応緊急支援助成 (第2期)」採択 *鳥取県内実施団体なし
中国5県連携事業等への参加、民間連携で解決を図る課題の設定・調査

③2020年度通常枠「中国5県休眠預金等活用事業2020」採択 担当：毛利、谷、松林

- ・申請：7月27日 (金) 申請テーマ：困難を有する者の支援 (892.5万円×2団体)
- ・内定：10月6日 (火) 鳥取県分の助成総額：1,785万円 (令和3～5年度の3年間)
- ・決定・契約：1月1日 (金)
- ・JANPIA申請に向けた説明会 6月25日 (木) オンライン 参加：毛利、谷、松林
事前個別相談 7月14日 (火) オンライン 参加：毛利、谷、松林
個別ヒアリング審査 8月12日 (水) オンライン 参加：毛利、松林
内定団体説明会 10月15日 (水) オンライン 参加：毛利、椿
社会的インパクト評価に関する説明会 10月22日 (金) オンライン 参加：谷、松林

[県内の実行団体公募・選定の取組]

- ・募集期間 1月25日 (月)～2月26日 (金) ・実施期間：契約締結から3年以内
- ・テーマ ①不登校・ひきこもりの状態にある子ども及び若者の居場所づくりと就学・就労を目指した整備等の環境づくり
②障がい者の居場所づくりと就労支援・自立支援を目指した整備等の環境づくり
- ・資金的支援 [助成支援] 1団体あたり892.5万円程度 総額：1,785万円
(令和3年5月頃～令和6年3月 (最長))
非資金的支援 [伴走支援] ①組織の持続性、ガバナンス強化 [組織診断、規程類整備] 支援
(月1回以上) ②ロジックモデルによる事業計画 (T o C：セオリー・オブ・チェンジ)
資金計画作成支援と進捗管理
③社会的インパクト評価による評価計画作成支援と進捗管理
- ・オンライン中国5県合同公募説明会 参加のべ11名 (うち申請検討団体5団体5名)
[第1回] 1月27日 (水) 参加5名 (うち申請検討団体3団体4名)
[第2回] 2月1日 (月) 参加6名 (うち申請検討団体2団体2名)
- ・メール・電話等による各種相談対応：8団体8名 (10回)
- ・申請4団体 ※審査会に向けた個別ヒアリングを実施
- ・審査会 3月22日 (月) オンライン (広島)
- ・採択2団体 (助成金総額 約1,750万円) 不採択2団体

	採否	テーマ	申請団体	ヒアリング実施日
東部	不採択	不登校・ひきこもり居場所支援	NPO法人鳥取青少年ピアサポート (鳥取市)	3月3日 (水)
西部	採択	障がい者の居場所支援	NPO法人西部ろうあ仲間サロン会 (米子市)	3月3日 (水)
	採択	不登校・ひきこもり居場所支援	NPO法人ひまわり倶楽部 (米子市)	3月9日 (火)
	不採択	不登校・ひきこもり居場所支援	NPO法人発達障がい児親の会 CHERRY (米子市)	3月8日 (月)

コ 新型コロナウイルス感染拡大による新たな支援ニーズに対応する支援事業

- ・「47都道府県『新型コロナウイルス対策』地元基金（略称「47コロナ基金」）」※5と地元NPO等と連携して行う寄付募集と助成事業（「47コロナ基金とっとりつながる助成プロジェクト」）

「47コロナ基金」に協働団体として参加し、同基金を寄付金の窓口として寄付募集を行った。

新型コロナウイルス感染の影響により、活動の制限や組織運営上の課題を抱えながらも新たなニーズに対応し、次世代に向けた活動を地域で進めているNPO等に助成を行った。

- ・寄付募集 目標金額：100万円（第1次：12月～1月） 実績：約31万円（令和3年3月現在）
- ・助成募集 募集期間：3月1日（月）～3月29日（月） 助成団体：2団体程度 実施期間：6ヶ月間
募集対象：① 子どもたちが安心して育つ環境を守っていく活動を行う団体
② 次世代のための新しい視点を取り入れたまちづくりのための活動
③ 特別な配慮を必要な人を支える活動

※審査会：令和3年4月21日（水）

	テーマ	申請団体
東部	子どもの育ち	認定NPO法人ハーモニカレッジ（鳥取市）「新しい放課後の居場所『あそび〜馬』」
西部	子どもの育ち	子どもの人権広場（米子市）「すべてのこどもに、あんしんできる居場所を」 *他、実行委員会構成団体：NPO法人学生人材バンク（鳥取市）

※5 「47都道府県『新型コロナウイルス対策』地元基金（略称「47コロナ基金」）」全国47都道府県それぞれの課題、ニーズに対応しようと現場で踏ん張るNPO、企業、医療者等の支援を助成の形で行うことを目的に、（一社）全国コミュニティ財団協会（CFJ）が設置した基金。現場に寄り添い支援の支援を行う全国各地のコミュニティ財団やNPO支援センター、地域づくりセンターなどとの協働プロジェクトとして、47都道府県の合同で寄付の募集をし、各地で助成を行っている。基金管理団体：（公財）地域創造基金さなぶり 寄付募集パートナー：リタワークス株式会社「congrant」

（4）社会人・若者ボランティア（プロボノ）推進事業

○支援を希望する県内のNPO等と、自らのスキルや経験を活かしてプロボノ支援を行いたい県内外の社会人・若者をマッチングし、プロジェクトを実施する。県外のプロボノワーカーの参加調整については、首都圏のプロボノコーディネート団体と連携して行った。

ア. プロボノ説明会及び育成研修

プロボノ支援を受けたいNPO等及びプロボノワーカー希望者向けの説明会及びプロボノワーカーの育成研修を実施した。

- ・受入団体の募集 2020年3月13日（金）～4月3日（金）
審査会 4月17日（金）オンライン
申請3団体（東部1、中部1、西部1） 採択3団体（東部1、中部1、西部1）
- ・説明会 オンライン ①7月30日（木）参加15名 ②8月1日（土）参加7名
プロボノワーカー 県内登録者38名、新規登録者6名、プロジェクト新規参加者5名
- ・育成研修 2月17日（水）（働き方改革セミナー、成果報告会と併せて開催）

イ. プロボノプロジェクト実施

県内外の社会人・若者が自らのスキルを活かして県内のNPO等を支援する、ボランティア（プロボノ）プロジェクトを、「関係人口」を広げる取組と連携して実施した。

首都圏コーディネート団体：認定NPO法人サービスグラント [担当課：県ふるさと人口政策課]

- ・プロジェクト（長期：9～1月） 3件

	東部	中部	西部
採択団体	鳥取ふるさとUI（友愛）会 （鳥取市）	（一社）なだて （倉吉市）	NPO法人米子ボート協会 （米子市）
支援内容	パンフレット作成	マーケティング基礎調査	広報戦略立案
ワーカー	首都圏4名、県内3名	首都圏4名、県内3名	首都圏4名、県内3名

オンラインキックオフミーティング・現場見学 (県内ワーカーのみ)	9月12日(土)		
	首都圏4名、県内3名	首都圏4名、県内3名	首都圏4名、県内3名
	県民ふれあい会館(鳥取市) 鳥取ふるさとUI(友愛)会 (鳥取市)	センター事務所(倉吉市) なだて明るいノーソン (倉吉市)	NPO法人米子ボート協会 (米子市)
個別ヒアリング・現場見学	9月26日(土)～27日(日)		
	首都圏2名、県内2名	首都圏3名、県内3名	首都圏2名、県内2名
	鳥取ふるさとUI(友愛)会 (鳥取市)ほか	なだて明るいノーソン (倉吉市)ほか	NPO法人米子ボート協会 (米子市)ほか
個別ヒアリング・現場見学	10月17日(土)～18日(日)		
	首都圏2名、県内2名	首都圏2名、県内3名	首都圏2名、県内3名
	鳥取ふるさとUI(友愛)会 (鳥取市)	なだて明るいノーソン (倉吉市)ほか	NPO法人米子ボート協会 (米子市)ほか
現状分析・方針提案・制作作業等 9月28日(月)～1月22日(金)			
最終提案	1月23日(土) 各団体において実施		
成果報告会	オンラインによる振り返り会(非公開) 1月24日(日) 参加27名 オンラインによる成果報告会(公開) 2月17日(水) 参加28名		

(5) 地域づくり活動体験機会提供事業

- 夏休み期間を中心に、NPO等地域づくり団体でのボランティア体験の機会を提供することで、若者をはじめ県内外からボランティア活動に参加したい人の地域づくり活動への参加を促進した。
- 大学等の協力を得ながら、若者向け地域課題解決ワークショップ(出前講座)を開催した。

ア 夏のボランティア体験

- ・受入団体募集期間：2月28日(金)～3月20日(金) ※県内高校に募集案内送付
- ・ボランティア募集期間：6月22日(月)～7月6日(月) 受入期間：7月20日(月)～9月30日(水)
※昨年度の参加人数を上回る申込みがあったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止にした団体、参加を見合わせた申込者が増えた。

<申込・参加状況>

	合計	東部	中部	西部	県外
当初の申込人数	131名	86名	17名	28名	0名
調整後の申込人数	107名	63名	21名	23名	0名
実際の参加人数(延べ人数)	51名	31名	14名	6名	0名

※当初の申込人数の内訳：高校生122名(鳥取東、鳥取城北、鳥取工業、鳥取商業、八頭、青翔開智、倉吉西、倉吉農業、米子西、米子松蔭)、大学生4名、社会人4名、その他1名

- ・受入団体 16団体(うち実施11団体、中止5団体) 受入人数：3人程度/団体

	受入団体	
東部	実施 6	NPO法人いちばん星(鳥取市)、NPO法人学生人材バンク(鳥取市) NPO法人鳥の劇場(鳥取市)、イラストレーター毛利彰の会(鳥取市) NPO法人八東川清流クラブ(八頭町)、冒険あそび場IWAMI(鳥取市)
	中止 2	NPO法人鳥取・森のようちえん・風りんりん(鳥取市) NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会(鳥取市)
中部	実施 4	復興支援隊 縁(倉吉市)、夢現の風やばせ(琴浦町)、NPO法人未来(倉吉市) NPO法人こども未来ネットワーク(倉吉市)
西部	実施 1	NPO法人こうふのたより(江府町)
	中止 3	NPO法人西部ろうあ仲間サロン会(米子市)、NPO法人米子ボート協会(米子市) (一社)里山生物多様性プロジェクト(南部町)

- ・参加者及び受入団体へのアンケート実施 10月1日(木)～23日(金)

イ 若者向け地域課題ワークショップ（出前講座）の開催

・ワークショップ（出前講座）の開催 2回

「地域連携学生プロジェクト活動報告会」（主催：鳥取大学）との共催で実施

12月16日（水）鳥取大学（プロボノ参加報告、とっとりSDGs若者支援型補助金等の成果報告会等）
公立鳥取環境大学倉持准教授の授業のゲストスピーカーとして講座実施 講師：毛利（センター事務局長）

12月16日（水）公立鳥取環境大学

※鳥取大学アートマネジメント講座 協力企画「非営利組織の資金調達の考え方と芸術」

オンライン11月14日（土）講師：徳永洋子（ファンドレイジング・ラボ代表）

・若者が企画する助成申請へのアドバイス及び伴走支援

「令和新时代創造県民運動推進補助金」申請団体への伴走支援 4校7団体8回

	学校名	団体・グループ名（支援回数）
東部	鳥取大学	もちりすプロジェクト（1回）、学生にぎわい創造プロジェクト（1回）
	青翔開智中学校・高等学校	メタ校プロジェクト（2回）、学生団体SkipClass（1回） トリコレプロジェクト（1回・申請取消し）
	鳥取西高等学校	7-R（1回）
西部	米子工業高等専門学校	食文化研究同好会（1回）

3. ネットワークを活用した地域づくり活動の支援【団体の活動を広げる】

（1）SDGs推進・ネットワーク事業

○「鳥取県令和新时代創生戦略」に基づき、持続可能な地域社会の実現を目指し、SDGsの普及啓発を図った。具体的には、SDGs推進のプラットフォーム（とっとりSDGs推進会議及びとっとりSDGsパートナー制度）を広げ、SDGsに関する講演活動や意見交換会を実施した。

ア 参加型のゆるやかなプラットフォーム「とっとりSDGs推進会議」の運営・拡大【事務局】

・とっとりSDGs推進会議 事務局：センター

鳥取県内の市民、NPO、企業、行政、大学・学校など、多様な主体が行うSDGs（持続可能な開発目標）の取組を共有・発信し、分野、組織、セクターを超えた連携・協働による持続可能な地域づくりの推進を目的とする「ゆるやかな参加型のプラットフォーム」

活動内容 ①学び・交流・情報共有 ②情報収集・発信 ③連携・協働

意見交換会等 「とっとりSDGs推進会議意見交換会（活動交流会）」

①7月15日（水）オンライン テーマ「コロナ禍での取組を語り合う」参加26名

②12月17日（木）オンライン「とっとりSDGs推進会議×とっとりSDGsパートナー活動交流会」 参加31名+11名（スタッフ等）=42名

*「第2回CSRマッチングセミナー」の第2部として、県新时代・SDGs推進課受託「とっとりSDGsパートナー」制度運営業務の意見交換の一環として開催

<事例報告>大堀貴士（認定NPO法人ハーモニカレッジ理事長）（鳥取市）

大田康一郎（学校法人柳心学園地域振興室副室長）（米子市）

③3月25日（木）オンライン「とっとりSDGs推進会議意見交換会」

<事例報告>森田恒志郎（鳥取大学地域学部地域学科地域創造コース2回生トリセフ代表）

遠藤明子（虹の会（不登校や障害・ひきこもりの親の会）世話人代表）

登録団体 87（団体73、個人14）SDGs推進の意志がある団体・個人（3月12日現在）

所在地	NPO等51	企業等14	行政等4	学校等4	個人14
鳥取市 38	鳥取市ボランティア・市民活動センター、鳥取県ユニセフ協会、鳥取県地球温暖化防止活動推進センター、勝部地域まちづくり協議会、NPOツナガルボックス、（一社）すなばスポーツ、鳥取県生活協同組合、Tottori Mama's、「介護の何でも屋」らしさ、NPO法人ねっこ、とっとり震災支援連絡協議	三井住友海上火災保険(株)、(一社)生命保険協会鳥取県協会、リコージャパン(株)鳥取支社、(株)百年人、オーガニック白髪染め	鳥取県（新时代・SDGs推進課）	公立鳥取環境大学、鳥取大学地域価値創造研究教育	3名

	会、にほんごがくしゅうかい、浜湯山・多鯉ヶ池活性化委員会、NPO法人おじぎそう、認定NPO法人ハーモニカレッジ、NPO法人市民エネルギーとっとり、YSP鳥取、冒険あそび場IWAMI、NPO法人賀露おやじの会、NPO法人学生人材バンク、NPO法人鳥取・森のようちえん・風りんりん、きりんのまち・愛プロジェクト、困り感を抱える子を支援する親の会／らっきょうの花	専門店美染、日の丸産業株式会社、弁護士法人河本・森法律事務所、CONNECT		機構、青翔開智中学校・高等学校	
倉吉市 13	NPO法人こども未来ネットワーク、NPO法人未来、NPO法人養生の郷、倉吉市体験型教育旅行誘致協議会、ダンスTUBEプロジェクト「鳥取HAKKA」、NPO法人かほくスポーツクラブ、(公財) とっとり県民活動活性化センター				6名
湯梨浜町1					1名
北栄町1	鳥取らくだカンファレンス				
琴浦町 6	鳥取中部かわせみネイチャークラブ、虹の会(不登校・障がいやひきこもりの親の会)、琴浦まちづくりネットワーク	鳥取東伯ミート株式会社	琴浦町		1名
米子市 18	NPO法人鳥取県障害者就労事業振興センター、(社福) こうほうえん、NPO法人西部ろうあ仲間サロン会、(社福) 宏平会、NPO法人サポートイルカ、NPO法人箕蚊屋みんなの集い、発達障がい児親の会CHERRY、遠距離介護支援協会、NPO法人コミュニティネット山陰、NPO法人大山綿の花	鳥取県中小企業家同友会、株式会社ホープタウン、N. K. C ナーシングコア・コーポレーション合同会社、株式会社中海テレビ放送	鳥取県消費生活センター	米子松蔭高校	2名
大山町2	ふれあいの郷かあら山、NPO法人YSSだいせん				
伯耆町1	ハウキっこチリトリおとな				
南部町1	(一社) 里山生物多様性プロジェクト				
日吉津村1	NPO法人おやこサポート小窓				
日南町1			日南町		
県外4	認定NPO法人自然再生センター(島根県)	株式会社山陰合同銀行(島根県)、ソフトバンク株式会社CSR統括部(広島県)			1名 (島根県)

イ SDGs推進のプロジェクト形成及び意見交換会・交流会等の開催

- ・こども・子育て支援のため「こどもたちがいきいきと生きる地域をつくりたい勉強会」
第3回 6月25日(木) オンライン 参加19名
- ・「災害時におけるNPO支援センター等の活動相互支援協定」に参加
8月4日(火) オンライン全体会議 参加：毛利
事務局：認定NPO法人日本NPOセンター 中国ブロック幹事：NPO法人岡山NPOセンター

ウ とっとりSDGsパートナー制度の推進【県新時代・SDGs推進課委託事業】

県と連携し、SDGsに取り組む個人・団体を対象に、SDGsパートナーとして参画を促し、SDGsの認知度向上と取組の「見える化」によるSDGsゴール達成に向けた活動の活性化を図った。

- ・パートナー登録目標 60件 募集スタート9月6日(日)
登録数153(3月12日現在) 内訳：団体144、個人9名 木工バッジを送付
- *「鳥取県令和新時代創生戦略」の令和6年度目標(5年間) 300件
- ・パートナー団体同士の意見交換
12月17日(木) オンライン「とっとりSDGs推進会議×とっとりSDGsパートナー活動交流会」
参加 31名24団体、個人2名(うちパートナー登録 14団体)

所在地	NPO等 21	企業等 118	学校等 5	個人 9
鳥取市 70	Tottori Mama's、NPO法人ワーカーズコープ、鳥取県ユニセフ協会学生部TORICEF、勝部地域まちづくり協議会、NPO法人Cheerful鳥取、NPO法人OMU、困り感を抱えた子を支援する親の会／らっきょうの花、認定NPO法人ハーモニイカレッジ、鳥取ユネスコ協会	日の丸産業株式会社、新日本海新聞社、リコージャパン株式会社鳥取支社、有限会社エスジーシステム、(株) 百年人、三井住友海上火災保険株式会社山陰支店鳥取支社、株式会社ゼンヤクノー、鳥取ガス産業株式会社、一般社団法人鳥取青年会議所、株式会社とっとり市民電力、鳥取ガス株式会社、弁護士法人河本・森法律事務所、株式会社商工組合中央金庫鳥取支店、オーガニック白髪染め専門店美染、株式会社Webもり、サンコネックス株式会社、日本セラミック株式会社、日本海テレビジョン放送株式会社、ヤマタホールディングス株式会社、株式会社エスマート、CONNECT、株式会社アイエスシー、有限会社鳥取珈琲館、株式会社101、あいまいニッセイ同和損害保険株式会社鳥取支店、マルサンアイ鳥取株式会社、鳥取トヨペット株式会社、エプソンリベア株式会社、髙橋ジャパンプロジェクト、スーパーホテル（鳥取駅前、鳥取駅北口、米子駅前）、株式会社strings、株式会社エタニ企業、株式会社もっとよくする、健幸わかば株式会社、フランス雑貨chouchou、株式会社澤寿運輸、有限会社セービング、株式会社一広、鳥取県信用保証協会、焼肉牛王、まえた療術院、山陰中央テレビジョン放送株式会社、吉田建設株式会社、株式会社エコ・ファーム鳥取、株式会社AKARI BREWING、(株) 田淵金物、鳥取県商工会青年部連合会、株式会社SiSS、炭火焼肉炭蔵、株式会社MagicPlus、株式会社三協商会、中国電力株式会社鳥取支社、サンワール株式会社、株式会社吉谷機械製作所	公立大学法人公立鳥取環境大学、鳥取市立久松小学校	5名
倉吉市 10	ダンスTUBEプロジェクト「鳥取HAKKA」	流通株式会社、福山建築、自力整体と顔ヨガdikara(ぢから)、有限会社久米製材所、株式会社ホームズ、中部共同生コン株式会社、株式会社SHFREE、株式会社ニット工房鳥取中部事務所、鳥飼トーヨー住器株式会社		
米子市 49	NPO法人鳥取県障害者就労事業振興センター、NPO法人コミュニティネット山陰、NPO法人鳥取県医療連携ネットワークシステム協議会(おしどりネット)、NPO法人山陰福祉の会、NPO法人こどもスマイルプロジェクト、社会医療法人同愛会(博愛病院他)	大成工業株式会社、株式会社スベック、Bluebird、美保テクノス株式会社、株式会社ホープタウン、ローカルエナジー株式会社、みつわ環境開発株式会社、株式会社中海テレビ放送、株式会社山陰放送、株式会社十色、山陰酵素工業株式会社、おおた農園、株式会社石田コーポレーション、有限会社カンダ技工、東亜青果株式会社、株式会社プロネット、自力整体教室ふわり、有限会社トシ・コーポレーション、山陰菅公学生服株式会社、リバーズ有限会社、株式会社コニシ、株式会社さんびる、株式会社あおい総合設計、菅公学生服株式会社米子工場、有限会社福井事務機、株式会社エコマ、株式会社ケーオウエイ、株式会社イルカカレッジ、株式会社肉の今川、Carpath、株式会社パワフルジャパン伯耆、あすとみらい株式会社、コラボレーション・コンサルティング合同会社、botadesign、有限会社THINK&CO.、株式会社中国銀行米子支店、鳥取ダイハツ株式会社、BRE MEN	学校法人柳心学園、学校法人翔英学園米子北斗中学校・高等学校、学校法人かいけ幼稚園	2名
境港市 6	いっへん	株式会社角屋食品、三光株式会社、千代むすび酒造株式会社、自然農法園さかい夢の浜		1名
岩美町 1		岩美町商工会		
八頭町 1	鳥取ブルーバース			
智頭町 1		株式会社クレコ・ラボ智頭研究所		
若桜町 1		合同会社MODE ONE		
北栄町 1		有限会社村岡オーガニック		
琴浦町 4		加登脇建設株式会社、株式会社チューブ、瑞光明有限会社、株式会社赤碕オート		
伯耆町 3		エムケイ開発株式会社、とっとり食のみやこプロジェクト株式会社		1名
南部町 1	NPO法人なんぶ里山デザイン機構			
日吉津村 1		株式会社エム・アール・ホーム		
大山町 2		有限会社森の国、株式会社skyer		
江府町 1	社会福祉法人尚仁福祉会			
県外 1		株式会社山陰合同銀行(島根県)		

<参加・連携イベント>（講師参加、研修参加、後援企画等） 17回23日

日時	会場	参加者	会議・役割
4月 8日（水）	鳥取商工会議所	毛利	鳥取商工会議所政策委員会「SDG s 勉強会」※講師参加
5月27日（水）	オンライン （東京都）	寺坂	（一社）SDG s 市民社会ネットワーク「SDG s ボトムアップ・アクションプラン2020発表ウェブセミナー『コロナとSDG s』」※研修参加
6月29日（月）	オンライン （東京都）	毛利 池淵	（一社）SDG s 市民社会ネットワーク定時社員総会「ウェブセミナー『誰もとり残さないSDG s とは』」※会員参加
9月16日（水）	倉吉シティホテル	毛利	倉吉中央ロータリークラブ例会「SDG s 勉強会」※講師参加
9月16日（水）	倉吉商工会議所	毛利	倉吉商工会議所女性会「SDG s 勉強会」※講師参加
9月18日（金）	倉吉信用金庫 うつぶき支店	毛利	倉吉経済同友会「SDG s 勉強会」※講師参加
10月 9日（金）	鳥取県生活協同組合 東部支所	毛利	鳥取県生活協同組合東部エリア会「SDG s 勉強会」※講師参加
10月13日（火）	オンライン （鳥取県）	毛利 寺坂 池淵	鳥取県「とっとりSDG s ネットワーク会議準備会」※事務局として参加、センターのSDG s の取組紹介
11月14日（土）	オンライン （鳥取県）	寺坂	鳥取県「とっとりSDG s ネットワーク会議」※事務局として参加
12月24日（木）	オンライン （東京都）	寺坂	（一社）SDG s 市民社会ネットワーク地域ユニット会議※構成団体として参加
1月29日（金）	オンライン （東京都）	寺坂	（一社）SDG s 市民社会ネットワーク地域ユニット会議※構成団体として参加
1月18日（月）	倉吉市上灘公民館	毛利	とっとり県消費者の会「SDG s 講演会」※講師参加
2月26日（金）	オンライン （東京都）	毛利 寺坂	（一社）SDG s 市民社会ネットワーク「4周年フォーラム」※会員団体として参加
3月16日（火）	打吹回廊	毛利	倉吉ロータリークラブ例会「SDG s 勉強会」※講師参加
3月19日（金）	倉吉市小鴨公民館	毛利	小鴨公民館 隣のDAI学院「SDG s 講演会」※講師参加
3月24日（水）	オンライン （鳥取県）	毛利 寺坂	智頭町×鳥取大学地域価値創造研究教育機構「地域からのSDG s－私たちの暮らしにとってSDG s とは『SDG s－危機の時代の羅針盤』」※協力団体、報告者として参加

エ ととりの元気づくりプロジェクト事業【自主事業】

具体的な取組は行われなかったが、東・中・西部の各プロジェクト毎に、今後事業を立ち上げる際の基盤として設置を継続することを確認した。

（2）地域づくり活動ノウハウ提供・支援人材育成事業【自主事業】

○鳥取県における地域づくり団体協議会の事務局機能を担い、地域づくり団体や活動者に応じた相談に対応するとともに、同協議会の情報提供を行った。

○地域においてNPO等を支援する者（地域おこし協力隊、集落支援員、中間支援組織等）の育成及びネットワークを構築することで、地域づくりの支援力を高め、NPO等の活動の拡大を図った。

ア 地域づくり団体全国協議会

- ・登録団体数125（新規0）[全国の地域づくり活動の情報収集]
- ・令和2年11月に予定していた「第38回地域づくり団体全国研修交流会長崎大会」はコロナの影響で中止となった。

イ 鳥取県×日本財団共同プロジェクト「共助交通を通じた地域人材育成プロジェクト」

「共助交通を通じた地域人材育成の普及協議会」委員長：馬田栄司（まちづくり大山）事務局：センター
9月末で事業終了 解散総会 11月13日（金）県西部総合事務所
参加10名（うち委員6名） ゆるやかなネットワークに移行することとした。

①成果報告会の開催 県内3か所×1回 参加123名

・共助交通を通じた地域人材育成事業の成果報告会

	東部	中部	西部
日時	7月2日（木）		7月3日（金）
場所	とりぎん文化会館 （鳥取市）	県中部総合事務所 （倉吉市）	米子市福祉保健総合センター 「ふれあいの里」（米子市）
講師	原田博一（株式会社イミカ代表取締役・コミュニケーション専門家）		
参加数	40名	35名	48名

②実証実験並びにOJTによる研修会の開催

・実証実験

- (1)米子市永江地区、大山町逢坂地区、倉吉市上北条地区 カーシェアによる共助交通のしくみづくり
協力：日本カーシェアリング協会
- (2)境港市小篠津地区 スーパーと連携した公共交通バス「はまる一ふバス」の活用
- (3)大山町大山地区 ドライブシェアアプリCREW（クルー）の活用協力：Azit
大山エリアでの相乗りサービスの試験運用に向けた合意書締結式
令和2年2月28日（金）大山ナショナルパークセンター（大山町）
実施：大山リゾートネットワーク協議会 ※新型コロナウイルスの影響により実証実験は中止

ウ 地域においてNPO等を支援する者の育成及びネットワークの構築

・[共催企画]「コロナに負けるな！夢実現フォーラム」

日時：3月20日（土）オンライン&対面 まなびタウンとうはく 参加27名
内容：(1) 琴浦町地域おこし協力隊活動報告 (2) 協力隊&コトドリーマークロストーク+交流会
主催：琴浦まちづくりネットワーク 後援：鳥取県、琴浦町

(3) ボランティア支援ネットワーク事業

○NPO等と市町村とのネットワーク会議、交流会を開催した。

○県内のボランティア活動を支援する団体・機関（鳥取県社会福祉協議会等）と、必要な情報を共有し連携を図った。

ア （市町村）ネットワーク会議・交流会 6以上の市町村と連携して6回開催

	開催地	共催・後援・協力等	開催日・会場	内容等	参加数
東部	鳥取市	協力：鳥取市ボランティア・市民活動センター、後援：鳥取市協働推進課	3月7日（日） 鳥取市民交流センター「麒麟square」	「Zoomの使い方も学べる！NPO交流会～コロナ禍でも活動を停滞させないために～」	8団体 9名
中部	琴浦町	共催：琴浦まちづくりネットワーク、後援：琴浦町企画政策課	1月21日（木） まなびタウンとうはく	「コロナで歩みを止めるな！～まちネット新年合同会議」	16団体 24名
	三朝町	共催：三朝町企画課、三朝町社会福祉協議会	2月28日（日） 三朝町総合文化ホール	「まちづくりの視点から「共助」を考える交流会」講師：椿善裕（センター企画員）	10団体 98名
	倉吉市	共催：倉吉市地域づくり支援課、三朝町企画課、湯梨浜町企画課、北栄町企画財政課、琴浦町企画政策課	3月6日（土） オンライン&倉吉未来中心	コロナで止まるな！県中部「地域づくり団体活動報告会&交流会」 報告：ふれあい車会・上北条（倉吉市）、ナチュラル&オーガニックフェスタTOTT	24団体 33名

				ORI（三朝町）、MCC（湯梨浜町）、琴浦まちづくりネットワーク（琴浦町）、あつまらいや北条（北栄町）	
西部	境港市	共催：境港市民活動センター登録団体連絡協議会、実施窓口：境港市民活動センター、境港市地域振興課	2月20日（土） しおさい会館（境港市民活動センター）	「SDGs体験講座～私たちのミライをつくる」講師：岸本行央（（株）百年人代表取締役社長）	9団体 16名
	日吉津村	共催：日吉津村総合政策課	3月27日（土） ヴィレステひえづ	「令和2年度第3回むらづくり講座&Z o m体験つき地域づくり交流会」	3団体 9名

イ ボランティア活動の情報共有・連携

- ・県民のボランティア活動を支援する団体・機関を訪問し、必要な情報を共有し、連携を図った。延べ13回
鳥取県社会福祉協議会、鳥取市社会福祉協議会鳥取市ボランティア・市民活動センター
倉吉市社会福祉協議会、境港市社会福祉協議会、琴浦町社会福祉協議会
鳥取大学地域価値創造教育研究機構（鳥取市）、公立鳥取環境大学（鳥取市）
鳥取看護大学（倉吉市）、鳥取短期大学（倉吉市）、倉吉市教育委員会（倉吉市）
倉吉総合産業高等学校（倉吉市）、鳥取城北高等学校（鳥取市）、青翔開智中学校・高等学校（鳥取市）
- ・社会福祉協議会との連携 上記、社会福祉協議会への訪問 5回（1県3市1町）
鳥取県社会福祉協議会…各種委員会、理事会への参加、夏のボランティア体験事業の共同募集
「災害ボランティア活動関係機関連絡会」の構成員として参加
市町村社会福祉協議会（鳥取市、米子市、境港市、琴浦町）…情報共有、個別協議

4. 相談体制整備・情報発信事業

（1）とっとり創生支援センター事業

- 東部・西部に支部を設置し、東部地域振興事務所及び中・西部の振興課と協働して、圏域内の相談対応、団体間のネットワーク構築支援等を行った。また、必要に応じて出張による相談対応を行った。
- ・設置場所 東部とっとり創生支援センター 鳥取県東部地域づくり推進部東部地域振興事務所内
西部とっとり創生支援センター 鳥取県西部総合事務所地域振興局西部振興課内
中部とっとり創生支援センター 公益財団法人とっとり県民活動活性化センター内
- ・相談対応 年間目標延べ200件に対して、延べ325件
（相談員各支援センターに1名、計3名配置し、それぞれ記録簿を作成）
- ・定期協議 月1回 12回実施

（2）相談対応・出前相談事業

- 相談員を配置し、県民・NPO等からの県民活動に関する幅広い相談に対応、記録簿を作成した。
- 各支援事業にあわせ、又他の支援団体等と連携するなどして、伴走型個別支援及び出前相談会を行った。

ア 相談対応・出前相談

- ・相談件数 延べ403件（うち創生支援センター325件）
＋休眠預金等助成相談 58件 震災復興活動支援センター相談 111件 計 延べ572件
うち「コロナに負けない！地域づくり相談窓口」の相談 94件
- 以下、延べ403件の内訳

<活動エリア別> ※重複あり

	東部	中部	西部	隣接県	その他県外
件数 (率)	163件 (35%)	157件 (34%)	125件 (27%)	6件 (1%)	14件 (3%)
*昨年度	*117件(41%)	*97件(33%)	*61件(21%)	*4件(1%)	*12件(4%)
※一昨年度	※105件(37%)	※72件(25%)	※104件(36%)	※3件(1%)	※2件(1%)

＜相談者別＞ ※重複あり

	①団体	②個人	③団体設立準備中	その他
件数(%)	357件(89%)	30件(8%)	10件(2%)	6件(1%)

＜相談方法＞ ※重複あり

	①電話	②来所	③訪問	④メール	その他(Zoom等)
件数(%)	172件(40%)	96件(23%)	90件(21%)	30件(6%)	35件(10%)

＜相談趣旨＞ ※重複あり

	①相談	②問合せ	③提案要望	その他
件数(%)	322件(79%)	29件(7%)	7件(2%)	48件(12%)

＜相談者の活動分野別＞ ※重複あり

	①まちづくり	②子どもの健全育成	③子育て支援	④障がい者支援	
件数 (%)	167件 (24%)	68件 (10%)	63件 (9%)	52件 (8%)	
	⑤経済活動・産業振興	⑥高齢者支援	⑦社会教育	⑧地域安全	
件数 (%)	51件 (8%)	47件 (7%)	29件 (4%)	22件 (3%)	
	⑨学術・芸術・文化・スポーツ	⑩中山間地域支援	⑪観光振興	⑫農業・漁業・林業	⑬環境保全
件数 (%)	21件 (3%)	21件 (3%)	19件 (3%)	17件 (2%)	16件 (2%)
	⑭保健・医療	⑮移住定住	⑯職業訓練・雇用機会	⑰男女共同参画	⑱IT・情報化社会
件数 (%)	15件 (2%)	8件 (1%)	7件 (1%)	5件 (1%)	3件 (1%)
	⑲災害救援	⑲人権・平和	⑲消費者保護	⑳国際協力	その他
件数 (%)	2件 (―%)	2件 (―%)	2件 (―%)	1件 (―%)	51件 (8%)

＜相談内容別＞ ※重複あり

	①助成金情報・申請	②法人設立、団体・プロジェクト立上げ		③組織運営		④情報収集・発信	
件数(%)	75件(15%)	72件(14%)		71件(14%)		67件(13%)	
	⑤講師依頼	⑥会計・労務等	⑦資金調達	⑧寄付・寄贈・募金	⑨行政との協働	⑩広報宣伝	
件数(%)	59件(12%)	28件(6%)	21件(4%)	15件(3%)	8件(2%)	7件(1%)	
	⑪ネットワーク	⑫起業	⑬ボランティア募集等	⑭事業委託	⑮認定申請	その他(SDGs等)	
件数(%)	5件(1%)	3件(1%)	2件(－)	1件(－)	1件(－)	68件(14%)	

・伴走型個別支援 31団体(東部12、中部12、西部7)

主な支援内容：組織運営・基盤強化、団体設立・法人化、資金調達、プロボノ、令和新时代創造補助金若者活動支援型採択団体支援、集落支援員支援、地域づくり・社会教育活動支援、地域住民アンケート・地域分析支援、共助交通人材育成支援、休眠預金実行団体伴走支援

	支援団体名
東部 12	NPO法人智頭の森こそだち舎(智頭町)、NPO法人鳥取森のようちえん風りんりん(鳥取市)、鳥取ふるさとUI会(鳥取市)、NPO法人太陽(鳥取市)、NPO法人トラベルフレンズ・とっとり(鳥取市)、NPO法人さじ未来(鳥取市)、鳥取大学〈もちろすプロジェクト〉〈学生にぎわい創造プロジェクト〉(鳥取市)、青翔開智中学校・高等学校〈メタ校プロジェクト〉〈学生団体SkipClass〉〈トリコレプロジェクト〉(鳥取市)、鳥取西高等学校〈7-R〉(鳥取市)
中部 12	倉吉市灘手地区公民館(倉吉市)、一般社団法人なだて(倉吉市)、倉吉市西郷地区公民館(倉吉市)、三朝町賀茂地域協議会(三朝町)、あつまらいや北条(北栄町)、北栄町高千穂自治会(北栄町)、NPO法人こども未来ネットワーク(倉吉市)、ふれあい車会・上北条(倉吉市)、MCC(湯梨浜町)、琴浦まちづくりネットワーク(琴浦町)、夢現の風やばせ(琴浦町)、NPO法人糸(倉吉市)
西部 7	NPO法人元気みなと(米子市)、NPO法人ポート協会(米子市)、米子工業高等専門学校食文化研究同好会(米子市)、NPO法人大地(日吉津村)、NPO法人ひだまり(米子市)、N.K.Cナーシングコア・コーポレーション合同会社(米子市)、大山移住交流サテライトセンター(大山町)

イ 出前相談会の開催(新型コロナウイルス感染拡大による新たな支援ニーズに対応する相談対応)

①「コロナに負けない!地域づくり相談窓口」の設置 8月18日(火)

- ・相談対応数 計94件
- ・新型コロナウイルス感染拡大に対する支援情報の発信(センターつうしん、ホームページ、SNS等)

②オンラインツールの活用促進、出前相談会の開催

- ・新型コロナウイルス感染拡大により広がったオンラインの活用方法の習得ニーズ（相談）に応え、講師・アドバイザーを派遣し、東・中・西部各3ヶ所×1回＝3回の目標に対して、「Zoom講座」等の「出前相談会」を9回開催した。

＜センター企画セミナー＞

日時	内容・講師（事例報告者）、参加人数等
7月29日（水）	【東・中・西部】「Zoomビギナー向け体験セミナー」オンライン開催（センター事務所・倉吉市） 相談員（講師）：椿善裕（センター企画員） 発表：NPO法人子ども未来ネットワーク、倉吉市上灘公民館、倉吉市灘手公民館 グラフィックレコーディング：久和温実（琴浦町地域おこし協力隊） 参加45名

＜依頼に応じた「出前研修」等＞

月日	場所及び内容等
10月22日（木）	【中部】「（社福）敬仁会職員研修」（社福）敬仁会事務所（倉吉市） 相談員（アドバイザー）：椿善裕（センター企画員）、小島ICTアドバイザー 参加53名
11月23日（月・祝）	【東・中・西部】「ガールスカウト鳥取県連盟役員研修」オンライン開催（センター事務所・倉吉市） 相談員（アドバイザー）：椿善裕（センター企画員） 参加18名
12月10日（木）	【中部】「リモート会議セミナー」北栄人権文化センター〈ほくほくプラザ〉（北栄町） 相談員（講師）：池淵菜美（センター書記） 参加6名
12月12日（土）	【中部】「倉吉市上灘公民館Zoom講座」倉吉市上灘公民館（倉吉市） 相談員（講師）：椿善裕（センター企画員） 参加15名
1月17日（日）	【東部】ガールスカウト鳥取県連盟（鳥取市）オンライン開催（センター事務所・倉吉市） 相談員（アドバイザー）：椿善裕（センター企画員） 参加20名
2月2日（火）	【中部】「えんたく中部会場」北栄人権文化センター〈ほくほくプラザ〉（北栄町） 相談員（講師）：椿善裕（センター企画員） 参加5名
2月18日（木）	【東部】「えんたく東部会場」鳥取市人権中央センター（鳥取市） 相談員（講師）：椿善裕（センター企画員） 参加6名
3月3日（水）	【西部】「えんたく西部会場」COCOステーション（米子市） 相談員（講師）：椿善裕（センター企画員） 参加9名

（3）情報集積・発信事業

○情報誌、機関紙を定期的に発行するとともに、新たなセンターパンフレットを作成した。

- ・情報誌 年1回発行 県内外の活動団体、行政、公共施設等400ヶ所
第14号（臨時号「てとり」）10月31日発行 テーマ：人に会う、人と話す、人が集まるといこと
- ・機関紙 年5回発行「センターつうしん」 県内全域のNPO等400ヶ所
第22号（臨時号）5月1日発行 主な内容：新型コロナウイルスアンケート結果報告、支援制度紹介
第23号 8月19日発行 主な内容：コロナ相談窓口設置、NPO法人定款調査結果報告
第24号 10月31日発行 主な内容：各種相談の案内、補助・助成事業報告
第25号 1月20日発行 主な内容：CSRマッチングセミナー報告、補助・助成事業報告
第26号 3月30日発行 主な内容：とっとりSDGs推進会議意見交換会、補助・助成事業報告
- ・センターパンフレット：3月31日発行

○県民活動活性化に資する県内外の情報を収集し、センターのウェブサイト、SNS、メルマガ、県県民参画協働課「令和新时代創造県民運動サイト」の登録・発信機能等を活用して、広く県民、NPO等へ発信した。

- ・ウェブサイト 月2回以上更新
- ・県県民参画協働課「令和新时代創造県民運動サイト」のメール配信機能による情報発信 5回実施
- ・同サイトのほか、「とっとりSDGs推進会議」等を活用して、情報発信を行った。

○メディアへの情報提供、新聞掲載等による広報を行い、センター事業の認知を図った。

- ・研修講座、寄付金贈呈式等の開催の際に、県民参画協働課の協力を得て、プレスリリースを発信した。

・広告掲載

広告媒体	掲載日	内容
日本海新聞	12月6日(日)	とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン、SDGs等
	1月31日(日)	とりECO最前線 センター名の表示
	2月25日(木)	とりECO最前線 コロナ相談窓口、SDGs推進会議
DARAZ FM	1月5日(火)	コロナ禍においてセンターが行うNPO支援
FM鳥取	1月6日(水)	コロナ禍においてセンターが行うNPO支援

・取材による掲載（センター名記載）

広告媒体	掲載日	内容
日本海新聞	8月15日(土)	ごうぎん私募債寄贈式（認定NPO法人鳥取県自閉症協会）
	8月24日(月)	とっとりSDGs推進会議（協賛：因幡環境整備株式会社）
	10月11日(日)	明治安田生命「私の地元応援基金」寄付金贈呈式
	10月28日(水)	とりぎん青い鳥基金助成金贈呈式（浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会）
	11月25日(水)	とりぎん青い鳥基金助成金贈呈式（認定NPO法人ハーモニカレッジ）
	11月28日(土)	とりぎん青い鳥基金助成金贈呈式（NPO法人発達障がい児親の会CHERRY）
	12月5日(土)	とっとり世界子どもの日キャンペーン・ホープタウン
	1月15日(金)	47コロナ基金とっとりつながるプロジェクト（池淵書記）
	1月16日(土)	災害復興ボランティア活動（谷書記）
	2月6日(土)	休眠預金活用
	3月3日(水)	とっとり世界子どもの日キャンペーン寄贈式（東亜青果×子どもの人権広場）
山陰中央新報	3月14日(日)	休眠預金活用
政経レポート	9月5日(日)	ごうぎん私募債寄贈式（認定NPO法人鳥取県自閉症協会）

5. 震災復興活動支援センター事業

（1）地域防災力強化事業【県危機管理局危機管理政策課委託事業】

○鳥取県中部地震からの復興に向けた住民活動・民間活動を支援し、地域の元気づくり活動やコミュニティ・絆の強化を通じて地域防災力強化を図り、震災前より安心、安全で元気な地域づくりをめざした。

ア 震災復興活動支援センターの運営 設置場所 公益財団法人とっとり県民活動活性化センター 内

県内各地域の防災や復興に関する取組を支援するために専門の職員を配置し、自治会等の住民組織や各種団体、学校、行政等からの要請に応じて、講習会の開催、訓練企画の提案及び講師派遣を行った。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で講師派遣の要請が減ったが、震災復興活動支援センター開設以来つながりがある地域や団体からの依頼を中心に相談対応や講師派遣を実施した。

＜地域防災、避難訓練等の講座・講演への講師の派遣＞ 11回（内訳：住民組織、NPO、学校・幼稚園等）

日時	場所	主催団体・イベント内容	講師
8月27日(木)	八頭町	八頭町男女共同参画センター「生き抜くための自主防災講座」	白鳥
9月17日(木)	湯梨浜町	湯梨浜町立羽合小学校「防災学習」（4年生）	白鳥
10月2日(金)	倉吉市	倉吉北高校「探求学習・災害対策」（1年生）	白鳥
10月25日(日)	倉吉市	倉吉市大谷自治公民館「防災担当者会」	白鳥
11月4日(水)	鳥取市	鳥取青年会議所防災委員会 防災の取り組みの提案	白鳥
11月13日(金)	三朝町	県中部学校保健会学校安全教育主任部会「防災講座」	白鳥
11月14日(土)	倉吉市	倉吉市社地区公民館「第1回社地区防災学習会」	白鳥
11月25日(水)	南部町	南部町立会見小学校、NPO法人ノームの糸車「合同防災学習会」	白鳥
2月25日(木)	鳥取市	鳥取市立鹿野学園「防災学習会（東日本大震災）」	白鳥
3月9日(火)	鳥取市	NPO法人鳥取・森のようちえん・風りんりん「親子防災学習会」	白鳥
3月12日(金)	倉吉市	倉吉市社地区自治公民館連絡協議会「防災担当者会」	白鳥

＜「支え愛マップ」づくり、事前の説明会、まち歩き 等＞ 2回

日時	場所	主催団体・イベント内容	講師
7月12日(日)	鳥取市	鳥取市鹿野町越路が丘自治会（班長会での事前説明）	白鳥
12月18日(金)	米子市	米子市尚徳地区 茶屋集落 自治会（尚徳地区公民館）	白鳥

<「避難者運営ゲーム（HUG）」の進行> 2回

日時	場所	主催団体・イベント内容	講師
2月27日（土）	倉吉市	地域防災リーダースキルアップ研修 中部 HUG体験	白鳥
3月6日（土）	米子市	地域防災リーダースキルアップ研修 西部 HUG体験	白鳥

イ 相談対応

住民組織やNPO等から地域の防災活動や復興支援活動等に関する相談の対応を行った。

- ・相談件数 延べ50件の自主目標に対して、延べ111件実施

A. 地域防災に関する相談対応数 61件 B. 中部地震被災者の相談対応数 50件

<相談者の地域別>

対象の地域（対象者）	東部	中部	西部	全県	県外
A. 地域防災に関する相談 （相談対応数 / 全体中の割合）	15回 （25%）	34回 （56%）	5回 （8%）	3回 （5%）	4回 （6%）
A. + B. 中部地震被災者の相談 （相談対応数 / 全体中の割合）	17回 （15%）	80回 （72%）	5回 （5%）	3回 （3%）	6回 （5%）

<相談対応先>

A. 相談者 組織の分類	住民組織 （自治会、自主防 災会、公民館）	市民団体 （NPO、ボラン ティア団体）	各種学校 （子ども園、小中 高校学、大学）	福祉組織 （社協、高齢者施 設等）	民間企業 （会社、商店、 組合組織等）	行政組織 （市町村役場、 人権センター等）	議員 （県議会及び市町 村議会議員）
相談対応数 （割合）	20回 （33%）	15回 （25%）	8回 （13%）	2回 （3%）	9回 （15%）	6回 （9%）	1回 （2%）

ウ 伴走支援

アンケート（「防災に関する地域住民の意識調査」）や「支え愛マップ」※6づくりに取り組む地域住民の支援、鳥取大学の学生防災サークル（鳥大防災Lab.）と防災の有識者との協働による鳥取県版「HUG（避難所運営ゲーム）」※7の開発、「東日本大震災」による県外からの避難者の生活支援に携わる団体（とっとり震災支援連絡協議会）の組織運営に関する支援、企業（防災用品販売店）の地域貢献のためのアドバイスなど、地域や組織の実情に応じて継続的に関わりながら、住民主体の地域防災体制推進のための支援に取り組んだ。

※6 支え愛マップ…災害発生時の地域内での「声のかけ合い」や「助け合い」または、平常時の「見守り」を目的として、地域住民が集まって「話し合いながら地図をつくる」活動。高齢者や障がい者など支援が必要な人の存在と「声かけ」の必要性を認識しながら、避難経路や避難方法、避難先などについて参加者どうしが話し合いながら確認する活動。

※7 HUG（ハグ／避難者運営ゲーム）…静岡県が開発した避難所の開設と運営を体験するゲーム。地域住民が主体的に避難所運営に関わることを疑似体験する。避難者の年齢や性別、国籍または、それぞれが抱える事情が書かれたカードを学校の教室や体育館に見立てた平面図に配置しながら、避難所で起こる様々な課題にどのように対応するかを話し合う。

- ・伴走支援数 自主目標10件に対して12件実施

内訳：住民組織4、NPO等2、社協2、大学サークル1、企業1、行政関連2

	支援 団体/地域
東部4	鳥取大学「鳥大防災Lab.」（鳥取市）、鳥取青年会議所防災委員会（鳥取市） とっとり震災支援連絡協議会（鳥取市）、鳥取市鹿野地区公民館「子ども防災キャンプ」検討委員会（鳥取市）
中部4	倉吉市大谷自治公民館（倉吉市）、倉吉市社地区自治公民館連絡協議会（倉吉市） 鳥取県中部地区公立中学校安全担当者会（倉吉市）、クロスロード「防災用品販売店」（倉吉市）
西部1	米子市尚徳地区公民館（米子市）
県外3	大田市社会福祉協議会（島根県）、倉敷市社会福祉協議会（岡山県） 徳島県災害ケースマネジメント推進チーム（同県庁、県社会福祉協議会、徳島大学、弁護士会 等）

エ 復興ボランティアネットワークの形成、立上げ及び活動の支援（県域の災害支援ネットワーク構築）

支援機関関係連絡会議の開催には至らなかったが、県外の災害支援団体との連携を図り、県内の様々な団体組織が連携して被災者支援や復興支援を進める「災害支援ネットワーク」の形成に参画するなど、県及び関係機関等との連携を図った。

- ・鳥取県社会福祉協議会が主催する「災害ボランティア活動関係機関連絡会」への参加
 - *上記連絡会の構成団体：(社福)鳥取県社会福祉協議会、(公社)日本青年会議所中国地区鳥取ブロック協議会、鳥取県生活協同組合、日野ボランティア・ネットワーク、鳥取県(以上、「災害時相互協力協定」締結団体[平成30年12月])、日本赤十字社鳥取県支部、ライオンズクラブ国際協会336-B地区、センター
 - 第1回：6月30日(火)鳥取県立福祉人材研修センター(鳥取市)
 - 第2回：9月18日(金)オンライン・在宅(鳥取市)
 - 第3回：3月4日(木)オンライン&対面 鳥取県立福祉人材研修センター(鳥取市)
- ・「鳥取中部福高祭～新型コロナからの復興支援～」に主催した鳥取中部福高祭実行委員会の構成団体として参加し、防災ブースを担当し、「防災クイズ」を実施した。
 - 10月4日(日)倉吉銀座商店街&打吹回廊 参加約3,000名(実行委員会7回)
- ・災害時連携に向けた動き
 - 認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)との連携
 - 5月25日(月)オンラインによる「災害発生時の新型コロナ対策」に参加

オ 災害ケースマネジメントの普及啓発

「鳥取県中部地震生活復興支援事業」で取り組んでいる被災者支援の手法「災害ケースマネジメント」の県内での普及及び定着に向けて、県下19の市町村の防災・福祉担当者を訪問し、「中部地震4年フォーラム」を開催した。準備の過程で「被災者支援に関する市町村向けアンケート」を研究者のアドバイスをいただきながら作成したが、実施には至らなかった。

(ア) 県内市町村の防災、福祉担当者への訪問

- ・鳥取県中部地震における被災者の生活復興支援事業(災害ケースマネジメント)についての説明
- ・「鳥取県中部地震4年フォーラム」への参加の呼びかけ
- ・「鳥取県版 災害ケースマネジメント」に関する意見や質問の聞き取り

県下19市町村の訪問 訪問者：白鳥(センター主任企画員)、内田(センター事務局員)

12月 1日(火) 岩美町	12月 2日(水) 大山町
12月 3日(木) 北栄町	12月 9日(水) 湯梨浜町、三朝町
12月10日(木) 琴浦町、若桜町、智頭町	12月11日(金) 日吉津村
12月14日(月) 南部町、日南町	12月15日(火) 江府町、日野町、伯耆町
12月22日(火) 倉吉市、鳥取市	12月23日(水) 米子市、境港市
12月24日(木) 八頭町	

(イ) 関連するネットワークへの参加

- ・「第5回災害ケースマネジメント構想会議」(オンライン) 10月18日(日)
- ・「第6回災害ケースマネジメント構想会議」(オンライン) 1月24日(日)

(ウ) 生活復興支援事業(「鳥取県版災害ケースマネジメント」)に関する発表(講演、シンポジウム等)

日時	場所	主催団体・イベント内容	講師
8月 5日(水)	オンライン 福岡県	NPO法人YNF(災害被災者支援団体) 「災害ケースマネジメント勉強会 for 大牟田」	白鳥
9月 2日(水)	鳥取市	鳥取大学地域学部「コミュニティ創造支援論」(被災者支援)	白鳥
10月24日(土)	島根県	大田市社会福祉協議会「島根県西部地震から2年フォーラム」事例報告	白鳥

(エ) 生活復興支援事業(「鳥取県版災害ケースマネジメント」)に関する視察の受け入れ

- ・倉敷市及び同市社会福祉協議会(岡山県) 担当者3人
 - *県中部総合事務所地域振興局と対応 11月9日(月)
- ・稲津秀樹鳥取大学地域学部地域学科准教授、同ゼミ学生2人 1月13日(水)

（オ）「鳥取県中部地震4年フォーラム」

- ・2月4日（木）倉吉未来中心 ＊新型コロナウイルス感染対策のため、オンライン&対面での開催
参加33名（内訳：14市町村20名、NPO等5名、鳥取県社会福祉協議会5名、研究者3名）
主な内容 ①「全国の災害ケースマネジメントの実施事例について」発表：津久井進（弁護士）
②「鳥取県中部地震の生活復興支援事業について」発表：白鳥（センター主任企画員）

カ 情報発信

- ・取材対応（センターの活動、中部地震4周年、「災害ケースマネジメント」等）
11件 内訳：テレビ局（県内3社）、新聞社（5社6件）、コミュニティ誌（県内1社）、県庁広報課1件

取材日	内容
4月 2日（木）	毎日新聞社鳥取支局 阿部記者「鳥取県版 災害ケースマネジメント」
4月 3日（金）	山陰中央新報 榊井鳥取総局長 震災復興活動支援センターの事業
4月14日（火）	山陰中央テレビ（T SK）「クロスロード」地域防災貢献企業
4月23日（木）	山陰放送（B S S）齊尾ディレクター「クロスロード」地域防災貢献企業について
7月16日（木）	コミュニティ生活情報誌「くらら くらぶ」防災特集「地域の防災」について
10月 7日（水）	NHK鳥取放送局 県中部担当記者（事前の打ち合わせ）中部地震4周年
10月 9日（金）	朝日新聞社鳥取総局 矢田記者 中部地震4周年と現在の被災者支援
1月21日（木）	「県政だより」県令和新时代創造本部広報課「鳥取県版災害ケースマネジメント」
2月 9日（火）	新日本海新聞社中部本社 吉浦記者「東日本大震災10周年」「災害ケースマネジメント」
3月 5日（金）	毎日新聞東京本社 金森記者「鳥取県版 災害ケースマネジメント」について
3月 9日（火）	読売新聞米子支局 但見記者「自主防災組織へのアドバイス」（鳥取地域版）

（2）鳥取県中部地震生活復興支援事業【県中部振興課委託事業】

- 鳥取県中部地震からの復興を図るため、県、市町、関係機関・団体等と連携し、地震の影響により住宅問題を始めとする生活面での課題が未だに解決されていない方々の生活復興を支援し、その取組状況及び進捗状況を調整、把握しながら状況の改善を図った。

ア 相談業務、調査業務

- ・鳥取県中部地震の影響により住宅問題を始めとする生活面での課題が未だに解決されていない世帯（以下、「対象世帯」という。）からの相談対応、必要に応じた当該世帯への個別訪問等による調査及び必要な支援を行った。
- ・倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町及び北栄町（以下、「中部市町」という。）及びその他関係機関との連絡調整、対象世帯の把握、課題等の情報共有を行った。
対象世帯 144（倉吉市94、三朝町14、湯梨浜町17、琴浦町1、北栄町18）
※令和元年度末との比較では、19世帯（倉吉市10、三朝町3、湯梨浜町4、北栄町2世帯）増加した。

イ 生活復興プランの作成

- ・対象世帯の実情に応じた課題解決策（以下、「生活復興プラン」という。）の検討・作成、中部市町及び関係機関等との連絡調整、および生活復興プランの作成状況の共有を行った。
ケース会議26回（平成30年4月～令和3年3月、倉吉市・三朝町・湯梨浜町・北栄町）
- ・生活復興プランの作成状況
生活復興支援事業の対象144世帯中、115世帯が「生活復興プラン」を作成（未作成29世帯）
「生活復興プラン」作成：支援対象144世帯中、支援完了117世帯、支援継続中27世帯

ウ 生活復興支援チーム（専門家等）の派遣

- ・生活復興プランに基づき、対象世帯へ派遣する専門家等の調整及び専門家等の取り組みの補助を行った。
- ・生活復興支援チーム派遣後の対象世帯に対するフォローアップを行った。

＜生活復興支援チーム（専門家等）の派遣状況＞ 197件（平成30年4月1日～令和3年3月31日）

専門の別	件数	専門の別	件数
建築技師（鳥取県職員）	53	地域包括支援センター職員（倉吉市）	1
瓦工事業、建設業関係者（令和元年4月から開始）	56	民生児童委員	3
専門ボランティア（復興支援隊「縁」）	41	保健師	3
ケースワーカー（市町村福祉課職員）	20	ファイナンシャル・プランナー（日本FP協会）	3
市町村社会福祉協議会職員	8	宅地建物取引業協会相談員	3
児童相談所（倉吉児童相談所）	1	NPO法人（ひきこもり生活支援センター）	1
居宅介護支援事業所	1	人権センター（倉吉市）	1
県福祉専門職	1	弁護士（鳥取県弁護士会）	1

＜「鳥取県震災復興活動特別支援事業補助金」等を活用した被災家屋の修繕支援状況＞ 合計33棟

	修繕の完了	ブルーシートかけ替え	調整中	調整待ち
令和2年度	9世帯（棟）	0世帯（棟）	2件	1件
令和元年度	24世帯（棟）	0世帯（棟）	0件	0件
合計	33世帯（棟）	0世帯（棟）	2件	1件

＜その他対応＞ 3件（県外の行政、社協）

日時	方法	視察者 / 相談者 所属	対応者
6月9日（火）	電話	千葉県防災危機管理部防災政策課（被災者支援担当者）	白鳥
9月9日（水）	電話	島根県大田市社会福祉協議会（島根県西部地震担当者）	白鳥
10月7日（水）	電話	岡山県倉敷市社会福祉協議会（真備支え合いセンター）	白鳥

6. その他の事業

（1）その他のNPO支援事業

ア 事務所スペースの活用の促進

- ・ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動等の拠点として、事務所の会議スペースの活用を促した。
利用実績：2団体4回 NPO法人こども未来ネットワーク（倉吉市）10月19日（月）、12月7日（月）
ガールスカウト連盟鳥取県支部（鳥取市）11月23日（月・祝）、1月17日（日）

（2）講師活動、各種委員会・審査会等への職員の派遣等

ア 講師等としての派遣（震災復興活動支援センター及びSDGs講演会等、すでに記載されているものを除く）

- ・全体業務とのバランスを考慮しながら、講師活動の向上を図り、推進した。

＜テーマ：地域づくり、ボランティア参加、協働等＞ 23件（自治会、公民館、行政・団体・大学等）

日時	場所	主催団体・イベント内容	講師名
4月13日（月）	倉吉市	灘手地区公民館「地域づくり研修会」	椿
6月9日（火）	鳥取市	湖南まちづくり協議 役員向け「住民アンケートのすすめ方」	椿
6月9日（火）	北栄町	高千穂自治会「役員勉強会」（北栄町生涯学習出前講座）	椿
6月26日（金）	倉吉市	西郷地区公民館「地域づくり研修会」	椿
7月9日（木）	倉吉市	灘手地区公民館 連続講座「住民アンケートのすすめ方」	椿
7月13日（月）	鳥取市	県民参画協働課「令和2年度鳥取県協働提案・連携推進事業 導入・中間研修」	毛利・椿
8月1日（土）	倉吉市	社地区公民館「持続可能な地域づくり」講座	椿
8月11日（火）	倉吉市	明倫地区公民館＋社地区公民館「地域の見える化」講座	椿
8月14日（金）	鳥取市	鳥取市協働推進課「住民主体の持続可能なまちづくり」（ケーブルテレビ収録）	椿
8月19日（水）	倉吉市	灘手地区公民館 連続講座「住民アンケートのすすめ方」	椿
9月2日（水）	倉吉市	灘手地区公民館 連続講座「住民アンケートのすすめ方」	椿
9月6日（日）	倉吉市	倉吉市ボランティアセンター ボランティアカフェ「オンラインツール（Zoom）を利用したボランティアのすすめ」	椿

9月 7日 (月)	三朝町	賀茂地域協議会「地域の見える化」講座	椿
9月16日 (水)	三朝町	賀茂地域協議会「賀茂地区の夢を語る会ワークショップ」(1)	椿
9月23日 (水)	三朝町	賀茂地域協議会「賀茂地区の夢を語る会ワークショップ」(2)	椿
9月29日 (火)	三朝町	賀茂地域協議会「賀茂地区の夢を語る会ワークショップ」(3)	椿
11月11日 (水)	鳥取市	鳥取市「令和2年度協働のまちづくり推進に向けた職員(係長級)研修」	椿
11月19日 (水)	倉吉市	倉吉市教育委員会主催公民館主事集合研修「地域づくりとSDGs」	椿
12月 4日 (金)	鳥取市	鳥取市松保地区住民有志による地域づくり研修会&意見交換会	椿
12月18日 (金)	倉吉市	倉吉市西郷地区公民館地域分析ワークショップ	椿
2月 5日 (金)	倉吉市	鳥取県中部総合事務所主催地域づくり研修会	椿
2月21日 (日)	倉吉市	倉吉市上北条地区自治公民館協議会役員研修会	椿
2月27日 (土)	三朝町	三朝町地域づくり研修会	椿

イ 委員会・審査会への派遣

- ・全体業務のバランスを考慮しながら、必要に応じて就任し、その役割を果たすとともに派遣先団体等と信頼関係を築くように努めた。

①県内外の委員会、審査会等の委員、審査員の就任

派遣数24(理事長及び職員5名)内訳:団体の役員等7 審議会等の委員8 審査会の委員9

日時	主催団体・イベント内容
齋藤理事長	県農地・水保全課「みんなで取り組む農業農村保全活動推進会議」委員
毛利常務理事	(社福)鳥取県社会福祉協議会 理事
事・事務局長	鳥取県生活協同組合 有識理事
	中国5県中間支援組織連絡協議会 代表
	共助交通を通じた地域人材育成の普及協議会 事務局長(～11月13日(金))
	NPO法人ひろしまNPOセンター「中国5県休眠預金等コンソーシアム運営委員会」運営委員
	こくみん共済「こくみん共済coop地域貢献助成事業中国四国審査委員会」委員
	(社福)鳥取市社会福祉協議会「市民まちづくり提案事業助成金(市民活動促進部門)審査会」委員
	県県民参画協働課「令和新时代創造県民運動推進委員会」委員
	倉吉市総合計画審議会 委員
	琴浦まちづくりネットワーク「琴浦町を元気にする夢コンテスト『コトウランドリーム』」審査委員
寺坂主任企画員	県ふるさと人口政策課「関係人口受入態勢づくり・マッチング事業実施委託業務プロポーザル審査会」委員
	とっとり子どもの居場所ネットワークえんたく 理事(法人)及び運営委員会委員
	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会 世話役人
	(社福)鳥取市社会福祉協議会「鳥取市ボランティア・市民活動センター運営委員会」委員
	県食のみやこ推進課「食のみやこ鳥取県づくり支援交付金審査会」委員
	鳥取市佐治町総合支所「佐治町小さな拠点事業推進委員会」オブザーバー
	鳥取市佐治町総合支所「佐治町生活交通会議」オブザーバー
椿企画員	県教育委員会事務局「とっとり県民カレッジ講座運営協議会」委員
	鳥取市協働推進課「鳥取市市民自治推進委員会」委員
	琴浦町企画政策課「琴浦町元気づくり応援事業費補助金審査会」委員
	鳥取県立倉吉総合産業高等学校学校運営協議会 委員
谷書記	県ふるさと人口政策課「都市圏での交流会実施委託業務プロポーザル審査会」委員
池淵書記	(社福)鳥取県社会福祉協議会「鳥取県ボランティア・市民活動センター運営委員会」運営委員

②会議等への参加

「鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議」(オンライン) 4回 参加:毛利

(3) 全国・中国地方の中間支援組織等との連携、会議等への参加

中国5県中間支援組織連絡協議会及び中国5県休眠預金等活用コンソーシアムの構成団体、(一財)地域活性化センター(地域づくり団体全国協議会)の鳥取県の事務局として、また、認定NPO法人日本NPOセンター、NPO法人会計基準協議会、全国NPO事務支援カンファレンス、(一財)非営利組織評価センター、

(一社)SDGs市民社会ネットワーク(SDGsジャパン)、同ネットワーク地域ユニット、災害時におけるNPO支援センター等の活動相互支援協定等、全国及び中国地方の中間支援組織と連携して、NPO支援、人材育成、調査活動、資金調達、災害支援等の協働・連携の取組を進めるとともに、会議や研修等への参加を通して、関係構築を図った。

また、とっとりの子どもの居場所ネットワーク“えんたく”の理事団体及び賛助会員として参加し、県内におけるこども食堂等、子どもの居場所づくりへの企業の寄付・寄贈、マッチング等の支援を行った。

ア 会議等への参加 9回

日時	場所	参加者	会議・役割
4月13日(月)	オンライン(岡山県)	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
5月29日(金)	オンライン(岡山県)	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
7月28日(火)	オンライン(岡山県)	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
6月26日(金)	オンライン(東京都)	寺坂、池淵	NPO法人会計基準協議会総会・拡大世話役人会
6月29日(月)	オンライン(東京都)	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス総会
6月29日(月)	オンライン(東京都)	毛利、池淵	(一社)SDGs市民社会ネットワーク定時社員総会
9月10日(木)	オンライン(岡山県)	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
11月13日(金)	オンライン(岡山県)	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会
3月10日(水)	オンライン(岡山県)	寺坂	全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会・意見交換会

イ 提言・調査活動

- ・「新型コロナウイルスの影響によるNPO及び多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書」を4月9日に超党派NPO議員連盟へ提出。(186組織、61個人) *齋藤理事長個人名で賛同
- ・「休眠預金等活用法の暫定措置に関する要望書」を5月11日に超党派NPO議員連盟、内閣府、JANPIAに提出。(885組織・個人) *毛利常務理事・事務局長名で呼びかけ人として賛同
- ・「第6回都道府県・主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査」(主催：全国NPO事務支援カンファレンス、NPO法人岡山NPOセンター地域連携センター)に実施協力した。

調査対象とした県内の自治体：鳥取県、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市 調査期間：12～3月